SONY

パーソナルコンピューター

M シリーズ

取扱説明書

VPCM1

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご確認ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや写真、画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows 7の画面テーマには、「Aero」や「ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」は、Windows 7 Home Premium搭載モデル、Windows 7 Professional搭載モデル、およびWindows 7 Ultimate搭載モデルにインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
- **SSD**
  Solid State Drive(内蔵フラッシュメモリー)のことをさします。
- **リカバリーメディア**
  リカバリーディスクのことをさします。

目次

コンピューター本体の使いかた

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

以下の項目については、付属の取扱説明書をご覧ください。

- 付属品を確かめる
- 接続する（バッテリーの取り付け、インターネット接続用機器と電源コードの接続）
- 電源を入れる
- Windowsを準備する

バッテリーの充電／表示の見かた

バッテリーを充電するには

本機をAC電源につないでいれば、本機を使っていてもバッテリーは充電されます。充電中は、➜▭（充電）ランプが点灯します。
バッテリーが設定されている容量近くまで充電されると、➜▭（充電）ランプは消灯します。
使用する条件によって、充電時間にばらつきがある場合があります。

ヒント
ご購入後はじめてのバッテリーの使用時から、普通にバッテリーを充電してご使用になれます。

バッテリー残量を確認するには

デスクトップ画面右下の通知領域にある（電源接続なし）や（電源接続あり）などの「バッテリー表示」アイコンをクリックすると、本機に取り付けたバッテリーの状態を確認することができます。

充電ランプの表示について

以下の場合に充電ランプが点灯または点滅します。（その他の場合は、消灯しています。）

点灯	バッテリー充電中（充電が終了すると消灯）
⏻（パワー）ランプと同時に点滅	バッテリー残量が少ない状態
すばやく点滅	バッテリーエラー時（バッテリー故障、バッテリーがロックされていない、など）

バッテリーを上手に使うには

バッテリーは消耗品です。充電回数や使用期間などにより少しずつ充電能力が低下していきます。このため、十分に充電を行っていてもバッテリーの駆動時間（使用可能時間）が短くなったり、寿命で使えなくなったりすることがあります。
また、バッテリーは上手に使うことによって駆動時間を長くすることができます。
ここでは、その方法についてご紹介します。

ヒント
バッテリーの残量を確認する方法について詳しくは、「バッテリーの充電／表示の見かた」（6ページ）をご覧ください。

バッテリーの駆動時間を長くするには

以下のようなことに気をつけると、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

- 省電力の機能を使う（8ページ）
  本機を使用していないときの消費電力を節約するモードとして、「スリープモード」と「休止状態」の2つが用意されています。
  スリープモードにするには （スタート）ボタン－ （矢印）ボタン－［スリープ］をクリックし、休止状態にするにはキーボードのFnキーを押しながらF12キーを押します。
  こまめにスリープモードにし、しばらく使わないときは休止状態、さらに長い間使わないときは電源オフにします。
  また、休止状態は電源オフからの起動よりも早く、スリープモードは休止状態よりもさらに早く作業中の状態に復帰できます。
- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする（18ページ）
- スピーカーやヘッドホンの音量を小さくする（22ページ）
- 使用していない周辺機器を取りはずす

スリープモード／休止状態にする

本機を使用していないときの消費電力を節約するモードとして、「スリープモード」と「休止状態」の2つが用意されています。それぞれに特長がありますので、使用状況にあわせて使い分けてください。
お買い上げ時の設定では、通常動作モード時にバッテリーの残量がわずかになると自動的に休止状態に入ります。

スリープモード（⏻（パワー）ランプ：オレンジ色にゆっくり点滅）

現在作業中の状態をメモリーに保持したまま（お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。
バッテリーでご使用中は、スリープモードに入ってから一定時間が経つと、休止状態に移行します。（お買い上げ時の設定）

スリープモードにするには

- （スタート）ボタン－ （矢印）ボタン－［スリープ］をクリックする。

スリープモードから通常の動作モードに戻すには

- ⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらす。
- キーボードのいずれかのキーを押す。

！ご注意

- ⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにすると、電源が切れて、作業内容や保存していないデータが失われます。
- 本機を電源に接続していない状態で長時間ご使用にならない場合は、休止状態にするか電源を切ってください。

休止状態（⏻（パワー）ランプ：消灯）

現在作業中の状態をハードディスクまたはSSDに保存して、本機の電源を切ります。しばらく本機を使わないようなときに便利です。

➜ （充電）ランプが⏻（パワー）ランプと同時に点滅するか、バッテリー残量が低下しているメッセージが表示されたら、休止状態にすることをおすすめします。

休止状態にするには

- Fnキーを押しながらF12キーを押す。
- （スタート）ボタンー （矢印）ボタンー［休止状態］をクリックする。

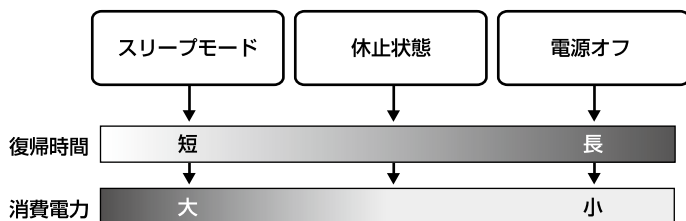
休止状態から通常の動作モードに戻すには

⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらします。

！ご注意

- 本機は、通常動作モード時にバッテリーの残量が少なくなると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、使用中のソフトウェアや接続中の周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断できないため、この機能が正しく働かないことがあります。
  長時間席をはずすときなどに、バッテリーが消耗した際、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れ、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
  バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。
- ハードディスク動作中の衝撃・振動を防ぐために、必ず本機の⏻（パワー）ランプが完全に消灯したことを確認してから移動してください。

復帰時間と消費電力について

スリープモードは一番復帰時間が短いですが、消費電力が大きくなります。電源を切ると復帰時間は長いですが、消費電力は一番節約できます。

電源オプションを変更する

使用状況にあわせて消費電力の節約を行うことができ、バッテリーの使用時間をのばすことができます。

電源プランを設定するには

「電源オプション」を使って電源プランの設定を変更できます。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [電源・バッテリー]－[電源オプション]をクリックする。

「電源オプション」画面が表示されます。

3 [詳細設定]をクリックする。

「電源プランの選択」画面が表示されます。

4 電源プランを選ぶ。

ヒント
画面左側の[電源プランの作成]をクリックすると、プランを作成することもできます。

電源プランの設定を変更するには

1 「電源プランの選択」画面で、各プランの[プラン設定の変更]をクリックする。

スリープ状態とディスプレイについての設定ができます。

2 さらに詳しい設定をする場合は、[詳細な電源設定の変更]をクリックする。

「詳細設定」タブの設定項目について詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

スリープモードと休止状態の設定を変更するには

液晶ディスプレイを閉じたときや⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)にずらしたときなどに移行する省電力動作モードを設定します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [電源・バッテリー]－[電源オプション]をクリックする。

「電源オプション」画面が表示されます。

3 [詳細設定]をクリックする。

「電源プランの選択」画面が表示されます。

4 画面左側の[電源ボタンの動作の選択]をクリックする。

「システム設定」画面が表示されます。

5 設定を変更する。

- カバーを閉じたときの動作：
  本機の液晶ディスプレイを閉じたときの設定。
- 電源ボタンを押したときの動作：
  本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらしたときの設定。

！ご注意

- 「カバーを閉じたときの動作」の設定を「何もしない」にした場合、液晶ディスプレイを閉じたままでも動作は継続しています。
  ディスプレイパネルの表面が熱くなることがありますので、液晶ディスプレイを閉じたままで長い時間、動作を継続中にさせないでください。
- ハードディスク動作中の衝撃・振動を防ぐために、必ず本機の⏻（パワー）ランプが完全に消灯したことを確認してから移動してください。

省電力の設定を確認する

VAIO 省電力ビューアーを使って、現在の省電力の状況を確認できます。
「電源に接続」時と「バッテリー駆動」時の省電力の状況を確認できます。電源プランを切り替えると、選択した電源プランの状況を確認できます。

VAIO 省電力ビューアーを起動するには

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。**

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 **[電源・バッテリー]－[VAIO 省電力ビューアー]をクリックする。**

デスクトップ画面の各部名称

本機の電源を入れたあと、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。
「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使うときの出発点です。

ヒント
このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

1 ごみ箱
いらなくなった文書や画像などのファイルやフォルダーを捨てる場所です。ごみ箱に捨てたファイルやフォルダーなどは、ごみ箱を空にするまでごみ箱の中に残っています。

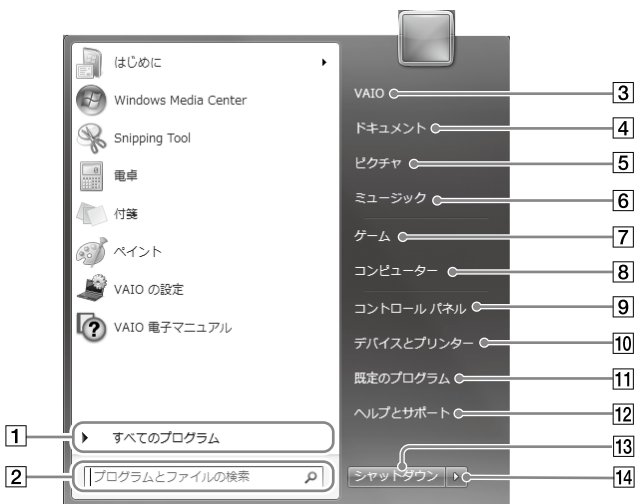
2 （スタート）ボタン
ここをクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして操作を始めてください。

3 起動中ウィンドウのアイコン表示
起動中のソフトウェアや文書などがここにアイコンで表示されます。デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このアイコンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

4 タスクバー
ソフトウェアやコンピューターの設定を確認したり、操作したりするための機能をまとめた場所です。（スタート）ボタン、起動中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域に分かれます。

5 通知領域
起動したときに自動的に使えるようになるWindowsの機能がここに表示されます。アイコンが表示されていないときは（矢印）をクリックすると表示されます。

スタートメニュー

（スタート）ボタンをクリックするとスタートメニューが表示されます。
スタートメニューの左側には最近使用したソフトウェアのアイコンが表示されます。

1 **すべてのプログラム**
本機に付属しているさまざまなソフトウェアを起動するときに使います。

2 **プログラムとファイルの検索**
キーワードを入力して、プログラムやファイル、ブラウザーの履歴に保存されたWebサイトを検索することができます。

3 **個人用フォルダー（ログイン名）**
Windowsにログオンしているユーザーの個人用フォルダーが開きます。個人用フォルダーには、ドキュメントフォルダーやミュージックフォルダーなど、そのユーザー専用のフォルダーが含まれています。

4 **ドキュメント**
テキストファイルなどを保管しておくフォルダーが開きます。

5 **ピクチャ**
デジタル写真、イメージ、グラフィックなどのファイルを保管しておくフォルダーが開きます。

6 **ミュージック**
ミュージックファイルやオーディオファイルを保管しておくフォルダーが開きます。

7 **ゲーム**
本機にインストールされているゲームが保管されているフォルダーが開きます。

8 **コンピューター**
ハードディスクまたはSSDやカメラ、プリンターなど、コンピューターに接続されているハードウェアを表示します。

9 **コントロールパネル**
ハードウェアやソフトウェアの設定のための機能が入っています。デスクトップやウィンドウの外観や設定を変更できます。

10 **デバイスとプリンター**
搭載されているデバイスと利用できるプリンターなどが表示されます。

11 **既定のプログラム**
ファイルをダブルクリックしたときに起動するソフトウェアを設定できます。

12 **ヘルプとサポート**
Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。

13 **シャットダウンボタン**
本機をシャットダウンします。
右クリックして［プロパティ］を選択すると、ボタンの操作設定を変更することができます。

14 **（矢印）ボタン**
休止状態にするとき、再起動するときなどに使います。

！ご注意
デスクトップ画面上のショートカットアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

画面の解像度を変更する

画面の解像度を変更する場合は、あらかじめ「画面の解像度について」（184ページ）をご覧ください。
Windowsのヘルプもあわせてご覧ください。

「画面の解像度」画面で設定するには

解像度を変更する

1 **デスクトップ画面上で右クリックし、表示されるメニューから［画面の解像度］を選択する。**

「画面の解像度」画面が表示されます。

2 **「解像度」の設定値をクリックして、表示されるスライダーで解像度を設定する。**

3 **［OK］をクリックする。**

「ディスプレイ設定」画面が表示された場合は、［変更を維持する］をクリックしてください。
変更した設定が有効になります。

画面の明るさを変更する

Fnキーで明るさを調節するには

Fnキーと F5キーやF6キーを組み合わせて、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。
Fnキーを押しながらF5キーを長押しすると、画面が暗くなります。
また、Fnキーを押しながらF6キーを長押しすると、画面が明るくなります。
このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。

ヒント
電源を切って再度起動しても、変更した画面の明るさは維持されます。

「電源オプション」画面で調節するには

1 （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

「ハードウェアとサウンド」画面が表示されます。

3 [電源オプション]をクリックする。

「電源オプション」画面が表示されます。

4 「電源オプション」画面で、選択しているプランの[プラン設定の変更]をクリックする。

「プラン設定の編集」画面が表示されます。

5 「プランの明るさを調整」のスライダーで、画面の明るさを設定する。

ヒント
「バッテリ駆動」時と「電源に接続」時の設定ができます。

6 [変更の保存]をクリックする。

変更した設定が有効になります。

表示するディスプレイを選ぶ

！ご注意

- 動画を再生中に画面の設定（解像度や色数の変更、表示するディスプレイの切り替えなど）を行うと、変更できなかったり、まれに本機の動作が不安定になる場合があります。画面の設定変更は、動画再生ソフトウェアを終了してから行ってください。
- 外部ディスプレイやプロジェクターなどの種類によっては、表示が切り替えられない場合があります。
- 外部ディスプレイやプロジェクターなどの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できない場合があります。

Fnキーを使って切り替えるには

Fnキーと F7キーを組み合わせて、本機に接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えることができます。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押します。

「画面の解像度」画面で設定するには

1 デスクトップ画面上で右クリックし、表示されるメニューから［画面の解像度］を選択する。

「画面の解像度」画面が表示されます。

2 「ディスプレイ」で表示するディスプレイを選択する。

3 「複数のディスプレイ」で表示するモードを選択する。

ヒント

「複数のディスプレイ」は、外部ディスプレイが接続されている場合にのみ表示されます。また、設定の内容は接続する外部ディスプレイの数によって変わります。

「複数のディスプレイ」の設定	表示される機器
複製する	本機の液晶ディスプレイと、本機の外部ディスプレイ端子につないだ外部ディスプレイなどの同時表示
1のみに表示する	本機の液晶ディスプレイまたは本機の外部ディスプレイ端子につないだ外部ディスプレイのうち、1と識別されたディスプレイのみに表示

「複数のディスプレイ」の設定	表示される機器
2のみに表示する	本機の液晶ディスプレイまたは本機の外部ディスプレイ端子につないだ外部ディスプレイのうち、2と識別されたディスプレイのみに表示
このディスプレイを切断する	選択したディスプレイとの接続を切断する

4 [適用]をクリックする。

「ディスプレイ設定」画面が表示された場合は[変更を維持する]をクリックします。

表示したいディスプレイをメインディスプレイに設定するには

動画やDVDなどの映像は、複数のディスプレイの両方に表示できない場合があります。次の手順で表示したいディスプレイをメインディスプレイ(プライマリー)に設定してください。

1 デスクトップ画面上で右クリックし、表示されるメニューから[グラフィック プロパティ]をクリックする。

グラフィックのプロパティー画面が表示されます。

2 「動作モード」で表示するモードを選択する。

3 「ディスプレイの選択」で、プライマリーデバイスからメインディスプレイにしたいディスプレイを選択する。

4 [適用]をクリックする。

5 「デスクトップの変更を確認」画面の[OK]をクリックする。

6 [OK]をクリックする。

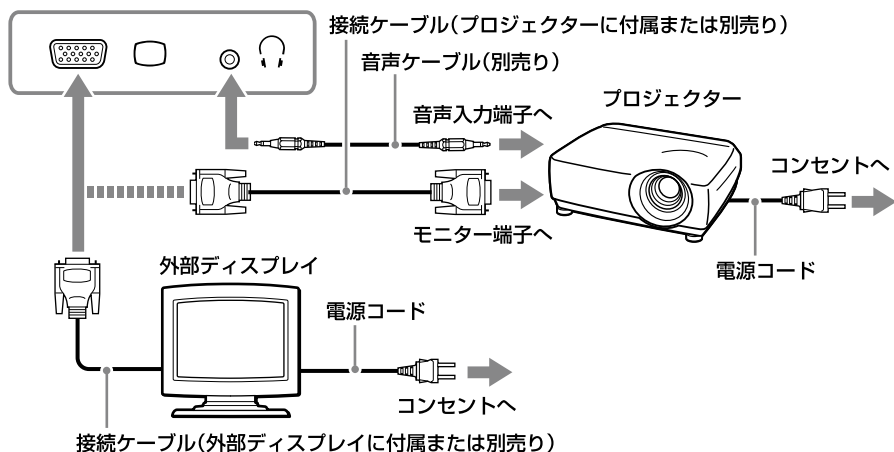
外部ディスプレイに接続する

外部ディスプレイやプロジェクターに表示するには

大きな画面で内容を確認したいときなどは、本機の▭(モニター)端子に外部ディスプレイやプロジェクターを接続します。
外部ディスプレイやプロジェクターの設定および使いかたについては、外部ディスプレイやプロジェクターに付属の取扱説明書をご覧ください。

!ご注意
外部ディスプレイやプロジェクターの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できない場合があります。

1 本体左側面の▭(モニター)端子(181ページ)に接続する。

ヒント
音声入力端子のある外部ディスプレイを接続する場合は、音声ケーブルを本体左側面の🎧(ヘッドホン)端子(181ページ)に接続します。

2 Fnキーまたは「画面の解像度」画面を使って、本機のディスプレイと外部ディスプレイやプロジェクターとの表示を切り替える。(19ページ)

!ご注意
外部ディスプレイやプロジェクターの種類によっては、本機で設定できる解像度の中でも表示できない場合があります。表示されない場合は、本機の解像度を下げてください。(17ページ)

音量を調節する

Fnキーで調節するには

キーボードのFnキーを使うと、スピーカーやヘッドホンなどの音量を調節できます。
Fnキーを押しながらF3キーを長押しすると、小さくなります。Fnキーを押しながらF4キーを長押しすると、大きくなります。
また、Fnキーを押しながらF2キーを押すと、スピーカーやヘッドホンなどの音を消すことができます。もう一度Fnキーを押しながらF2キーを押すと、元の音量に戻ります。

ヒント
消音状態でFnキーを押しながらF4キーを押しても消音状態が解除できます。

Windowsのコントロールパネルで調節するには

次の手順で音量を調節してください。

1 （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

3 「サウンド」の[システム音量の調整]をクリックする。

「音量ミキサー」画面が表示されます。

4 「デバイス」に表示されているスライダーを上下に動かして好みの音量に調節する。

消音（ ）になっている場合は、 （ミュート 解除）をクリックして消音解除（ ）にしてください。音量が最小になっている場合は音量を上げてください。

ヒント
ソフトウェアごとに音量を調節することができます。

マイクなどで録音時の音量を調節するには

次の手順で音量設定を変更してください。

1 （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

3 [サウンド]をクリックする。

「サウンド」画面が表示されます。

4 [録音]タブをクリックする。

5 [マイク]など、選択したい録音デバイスをクリックして、[プロパティ]をクリックする。

「マイクのプロパティ」など、録音デバイスのプロパティー画面が表示されます。

6 [レベル]タブをクリックする。

7 スライダーを左右に動かして好みの音量に調節する。

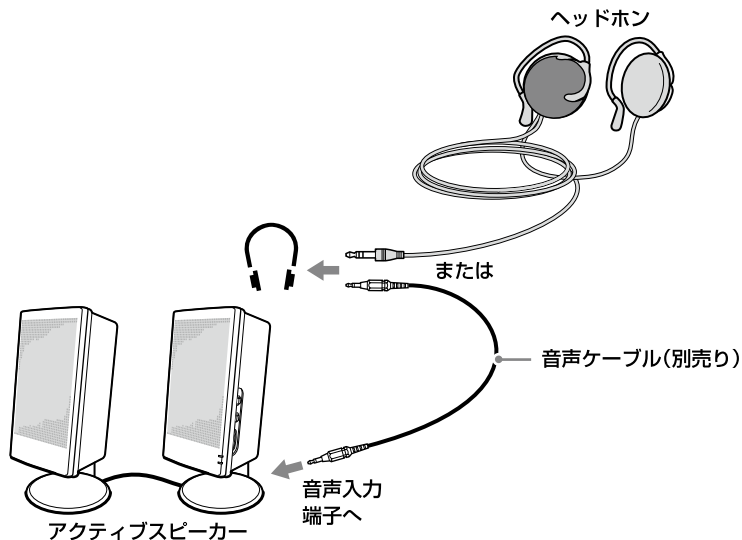
ヒント
「マイク」の場合、スライダーを最大にしても録音音量が足りないときは「マイク ブースト」のスライダーを上げて調節することができます。

8 [OK]をクリックする。

スピーカー/ヘッドホン/マイクを接続する

外部スピーカー／ヘッドホンをつなぐには

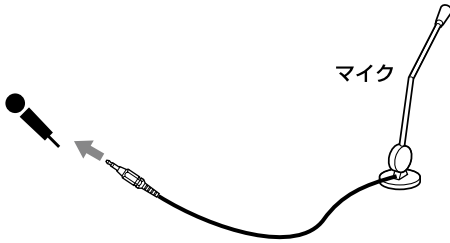
スピーカーやヘッドホンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本体左側面の🎧(ヘッドホン)端子に接続します。

！ご注意

- 電源を入れるときは、外部スピーカーの音量を最小にしてください。
- 外部スピーカーの上にフロッピーディスクなどを置かないでください。スピーカーの磁気によりディスクに記録されているデータが破壊されることがあります。

マイクをつなぐには

プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。
マイクの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本体左側面の🎤（マイク）端子に接続します。

！ご注意
録音ソフトウェアを使用中にマイクの抜き差しをすると録音ができなくなり、ソフトウェアが終了する場合があります。マイクの接続と録音デバイスの選択は、ソフトウェアを起動する前に実行してください。

ヒント
ハウリングを起こす場合は、スピーカーとマイクの距離を離してください。

音声の出力先を変更する

1

（スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2

[ハードウェアとサウンド]をクリックする。

3

[サウンド]をクリックする。

「サウンド」画面が表示されます。

4

[再生]タブをクリックする。

5

音声を出力したいデバイスのアイコンの右下にチェックがついているか確認する。

チェックがついていない場合には、出力したいデバイスのアイコンを選択して[既定値に設定]をクリックしてください。

6

[OK]をクリックする。

Windowsキー／Fnキーを使う

Windowsキーと組み合わせたショートカットキー一覧

キー操作の表記

例：（Windows）＋F　→　Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
（Windows）＋F1	Windowsのヘルプを表示します。
（Windows）＋Tab	表示されているすべての画面を三次元に並べて表示します。（Windows Aero選択時のみ） **！ご注意** Windows 7のバージョンや、お使いの機種の仕様によってはWindows Aeroに対応していない場合があります。
（Windows）＋D	デスクトップを表示します。
（Windows）＋E	「コンピューター」画面を表示します。
（Windows）＋F	「検索結果」画面を表示します。
（Windows）＋M	表示されているすべての画面を最小化します。
（Windows）＋Shift＋M	（Windows）＋Mで最小化したすべての画面を元のサイズに戻します。
（Windows）＋P	画面の出力先を外部ディスプレイに切り替えます。（Windows）キーを押しながらPキーを繰り返し押して、出力したい画面を選択します。 ● コンピューターのみ： 本機の液晶ディスプレイのみに表示します。 ● 複製： 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同じ画面を表示します。 ● プロジェクターのみ： 外部ディスプレイのみに表示します。 **！ご注意** 外部ディスプレイのみに表示中にディスプレイケーブルをはずすと、本機の液晶ディスプレイが非表示状態のため、操作が困難になります。 （Windows）キーを押しながらPキーを2回押すと、本機の液晶ディスプレイに画面が表示されます。
（Windows）＋R	「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］をクリックしたときと同じです。

詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧

キー操作の表記

例：Fn＋ ※(F2)→Fnキーを押しながらF2キーを押す。

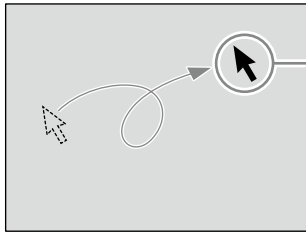
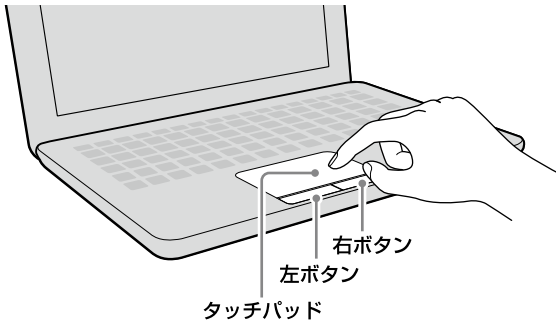
組み合わせ	機能
Fn ＋ ※ (F2)	スピーカーやヘッドホンの音声を入／切します。
Fn ＋◿ -(F3)	スピーカーやヘッドホンの音量を下げます。Fnキーを押しながらF3キーを長押しすると、小さくなります。 このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。このときに↓または←キーを押しても小さくなります。
Fn ＋ ◿ +(F4)	スピーカーやヘッドホンの音量を上げます。Fnキーを押しながらF4キーを長押しすると、大きくなります。 このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。このときに↑または→キーを押しても大きくなります。
Fn ＋ ☼ - (F5)	液晶ディスプレイを暗くします。Fnキーを押しながらF5キーを長押しすると、液晶ディスプレイは暗くなります。 このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。このときに↓または←キーを押しても画面が暗くなります。
Fn＋ ☼ + (F6)	液晶ディスプレイを明るくします。Fnキーを押しながらF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイは明るくなります。 このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。このときに↑または→キーを押しても画面が明るくなります。
Fn ＋ LCD / ⊖ (F7)	画面の出力先を外部ディスプレイに切り替えます。Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押します。 ● コンピューターのみ： 本機の液晶ディスプレイのみに表示します。 ● 複製： 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同じ画面を表示します。 ● プロジェクターのみ： 外部ディスプレイのみに表示します。 ！ご注意 ● 動画を再生中にディスプレイの切り替えをしようとした場合、変更できなかったり、まれに本機の動作が不安定になることがあります。 動画再生ソフトウェアを終了させてから行ってください。 ● 外部ディスプレイのみに表示中にディスプレイケーブルをはずすと、本機の液晶ディスプレイが非表示状態のため、操作が困難になります。 Fnキーを押しながらF7キーを2回押し、Enterキーを押すと、本機の液晶ディスプレイに画面が表示されます。
Fn ＋ ᶻᶻ⇥▯ (F12)	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクまたはSSDに書き込まれるので復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn＋Scr Lk（スクロールロック）	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn ＋ Pause（ポーズ）	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn ＋ Break（ブレイク）	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

組み合わせ	機能
Fn ＋ Pg Up（ページアップ）	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn ＋ End（エンド）	行またはページの最後にカーソルを移動します。
Fn ＋ Pg Dn（ページダウン）	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn ＋ Home（ホーム）	行またはページの先頭にカーソルを移動します。
Fn ＋ Num Lk（ナムロック）	キーボードの上側にある（Num Lock）ランプが点灯し、テンキーを使って、数字を入力できるようになります。

！ご注意

Windows起動後でないと作動しないものがあります。

タッチパッドの基本操作

タッチパッドに触れて指を動かすと、画面上のポインターも同じ方向に移動します。

ポインターを目的の位置まで動かして左または右のボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピューターに伝えることができます。

クリックするには

ポインターを希望の位置にあわせて、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押します。[OK]や[キャンセル]などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックするには

ポインターを希望の位置にあわせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサーや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

右クリックするには

ポインターを希望の位置にあわせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインターの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

ドラッグするには

ポインターを希望の位置にあわせて、左ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かします。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かしても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップするには

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダーやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かしてアイコンなどの上で指を離しても同じ働きをします。

スクロールするには

指をタッチパッド上の右端にあわせて、上下に動かします。選択されているウィンドウ上の垂直方向のスクロールバーを移動できます。
また、指をタッチパッドの下端にあわせて、左右に動かします。選択されているウィンドウ上の水平方向のスクロールバーを移動できます。

!ご注意
ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。

タッチパッドを有効／無効にするには

マウスの使用にあわせて本機のタッチパッドを有効または無効にすることができます。
なお、この操作を行うには、「コンピューターの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

タッチパッドを有効にするには

1 **（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。**

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 **[キーボード・マウス]－[内蔵ポインティングデバイス]をクリックする。**

設定画面が表示されます。

3 [有効にする]のチェックボックスをクリックして、チェックする。

4 [OK]をクリックする。

変更した設定が有効になります。

タッチパッドを無効にするには

!ご注意
マウスを接続していない状態で本機のタッチパッドを無効にすると、キーボードでの操作しかできなくなります。あらかじめマウスを接続した状態で無効の設定を行ってください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [キーボード・マウス]－[内蔵ポインティングデバイス]をクリックする。

設定画面が表示されます。

3 [有効にする]のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

4 [OK]をクリックする。

変更した設定が有効になります。

タッチパッドの使いかたについて詳しくは、タッチパッドのヘルプをご覧ください。

DVDドライブなどを取り付ける

本機には、別売りのUSB DVDスーパーマルチドライブなどをつなぐことができます。

！ご注意

- 本機で音楽CDやDVDビデオを再生するには、外付けドライブが必要です。
- 外付けドライブには本機で使用できないものもあります。詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご確認ください。
- 外付けドライブにACアダプターが付属されている場合は、必ず電源に接続してお使いください。

ヒント

- CDやDVDから起動するときは、本機の電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを繰り返し押してください。
- 外付けドライブによっては、ソフトウェアのインストールが必要なものもあります。詳しくはお使いになる外付けドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続のしかたや使いかたは、お使いになる外付けドライブによって異なります。詳しくは、外付けドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

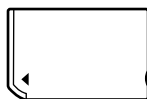
“メモリースティック”とは

“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でのデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとして、データを保存するときにもお使いいただけます。
“メモリースティック”についての最新情報は、http://www.sony.jp/products/ms/をご参照ください。

“メモリースティック”のサイズ

“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズのものがあります。

標準(“メモリースティック”)

“メモリースティック”
“メモリースティック PRO”

小型(“メモリースティック デュオ”)

“メモリースティック デュオ”
“メモリースティック PRO デュオ”
“メモリースティック PRO-HG デュオ”

使用可能な“メモリースティック”

本機では、以下の“メモリースティック”をご使用になれます。

- “メモリースティック デュオ”
- “メモリースティック PRO デュオ”
- “メモリースティック PRO-HG デュオ” *
- “メモリースティック マイクロ”

* 本機は8 ビットパラレルデータ転送には対応していません。

!ご注意

- 本機では、標準サイズの“メモリースティック”はご使用になれません。
- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”を“メモリースティック マイクロ” デュオサイズ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
- 本機では、2010年1月時点で一般の販売店で購入できる32 Gバイトまでのソニー製の“メモリースティック”でのみ動作確認を行っています。
  ただし、すべての“メモリースティック”での動作を保証するものではありません。

“MagicGate”(マジックゲート)とは

“MagicGate”(マジックゲート)とは、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。対応機器と“メモリースティック”との間で、お互いに「記録・再生が正しく行えるか」を確認する認証、およびデータの暗号化が行われます。データの再生時も同様に認証が行われ、認証が成功した場合のみ暗号化以前のデータに戻され(復号化)、再生されます。認証された機器以外では、著作権保護されたデータは再生できません。

!ご注意

静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

“メモリースティック”を入れるには

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” スロットに奥までしっかりと差し込みます。正しく挿入すると「カチッ」と音がしてスロット内の端子に接続されます。

“メモリースティック デュオ”
矢印の方向から挿入する。

“メモリースティック デュオ”
スロットへ

“メモリースティック デュオ”を挿入すると、「Memory Stick (*:)」画面が表示されます。表示されない場合は、（スタート）ボタン－［コンピューター］をクリックして、「Memory Stick (*:)」と表示されていることを確認してください。［Memory Stick (*:)］をダブルクリックすると、“メモリースティック デュオ”の内容が表示されます。

* ここに表示される“メモリースティック デュオ”のドライブ文字は、本機の使用環境に応じて変わる場合があります。

！ご注意

- 本機では、標準サイズの“メモリースティック”はご使用になれません。
- “メモリースティック デュオ”を挿入していないときは、「コンピューター」画面に“メモリースティック デュオ” スロットのドライブが表示されません。
- 差し込む際は、“メモリースティック デュオ”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、本機の“メモリースティック デュオ” スロットや“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。
- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”を“メモリースティック マイクロ” デュオサイズ アダプターに入れてから本機に挿入してください。

“メモリースティック”を取り出すには

使用中の“メモリースティック デュオ”のファイルを閉じ、メモリーカードアクセスランプが点灯していないことを確認してから“メモリースティック デュオ”を奥まで押し込みます。いったん手を離し、“メモリースティック デュオ”を引き抜いてください。“メモリースティック デュオ”が取り出せないときは、もう1度奥まで押し込んでいったん離し、“メモリースティック デュオ”を取り出してください。

！ご注意

- メモリーカードアクセスランプが点灯しているときに“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。データが失われるおそれがあります。画像ファイルなどの大容量データの読み出しに時間がかかる場合がありますので、“メモリースティック デュオ”を取り出す際はご注意ください。
- 本機の“メモリースティック デュオ” スロットから“メモリースティック デュオ”を取り出すときに、“メモリースティック デュオ”を押して指を離すと、“メモリースティック デュオ”が勢いよく飛び出る場合があります。最後まで指を添えて取り出すようにしてください。

“メモリースティック”にデータを保存する

1 “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”スロットに入れる。

2 （スタート）ボタン－[コンピューター]をクリックする。

「コンピューター」画面が表示されます。

3 [Memory Stick (*:)]をダブルクリックする。

「Memory Stick (*:)」画面が表示されます。

4 “メモリースティック デュオ”に保存したいデータのアイコンを、「Memory Stick (*:)」画面にドラッグアンドドロップする。

データが“メモリースティック デュオ”に保存されます。

！ご注意

- 誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック デュオ”の場合、“メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録や消去ができなくなります。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- “メモリースティック デュオ”の種類によっては、誤消去防止スイッチがないものもあります。

“メモリースティック”を初期化するには(フォーマット)

“メモリースティック デュオ”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。
フォーマット(初期化)が必要な場合は、必ず“メモリースティック デュオ”に対応した専用機器で行ってください。
本機で“メモリースティック デュオ”を再フォーマットするときは、下記の手順に従ってフォーマットを行ってください。

!ご注意

- すでにデータが書き込まれている“メモリースティック デュオ”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようにご注意ください。
- フォーマット中は絶対に“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” スロットから取り出さないでください。故障の原因となります。

1 フォーマットしたい“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ” スロットに入れる。

2 (スタート)ボタン－[コンピューター]をクリックする。

3 “メモリースティック デュオ”が挿入されているドライブ名を右クリックし、[フォーマット]をクリックする。

「フォーマット」画面が表示されます。

4 [デバイスの既定値を復元する]をクリックする。

「ファイル システム」や「アロケーション ユニット サイズ」の値が既定値に変更されます。

ヒント

「フォーマット オプション」で[クイック フォーマット]のチェックボックスをクリックしてチェックすると、フォーマットが早く完了します。

!ご注意

「ファイル システム」の[NTFS]は選択しないでください。

5 [開始]をクリックする。

フォーマットの確認画面が表示されます。

[OK]をクリックする。

“メモリースティック デュオ”がフォーマットされます。

!ご注意

“メモリースティック デュオ”によっては、フォーマットに時間がかかる場合があります。

フォーマットが完了したら、[OK]をクリックする。

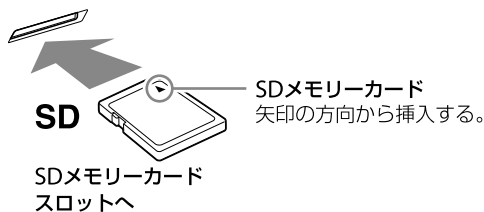
8

「フォーマット」画面の[閉じる]をクリックする。

メモリーカードを入れる／取り出す

メモリーカードを使って、記憶媒体としてデータを保存したり、デジタルスチルカメラと画像をやりとりしたりすることができます。

SDメモリーカードを入れるには

SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに奥までしっかりと差し込みます。正しく挿入すると「カチッ」と音がしてスロット内の端子に接続されます。

！ご注意

SDメモリーカードの向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとするとスロットを破損するおそれがあります。詳しくは、SDメモリーカードの各メーカーの取扱説明書をご覧ください。

SDメモリーカードの中のデータを使うときは

SDメモリーカードを挿入すると表示される「自動再生」画面で［フォルダーを開いてファイルを表示］をクリックします。
SDメモリーカードの中のデータが表示されたら、目的に応じて操作してください。

！ご注意

SDメモリーカードを挿入していないときは、「コンピューター」画面にSDメモリーカードスロットのドライブが表示されません。

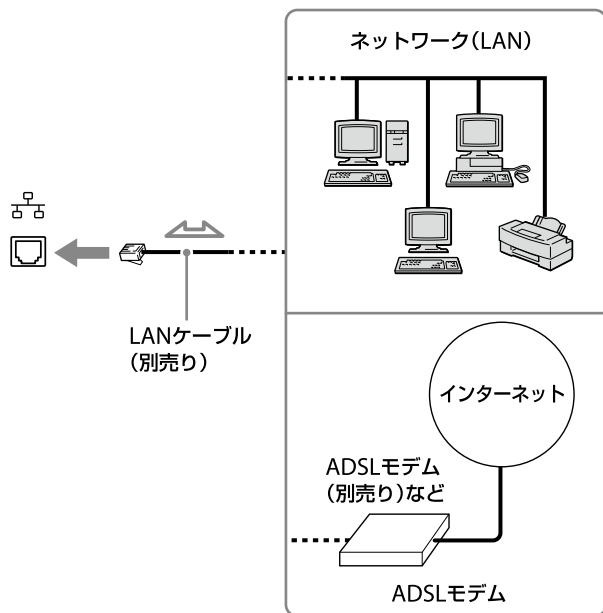
SDメモリーカードを取り出すには

SDメモリーカードへのデータの書き込みやデータの読み出しを行っていないことを確認してからSDメモリーカードをいったん奥まで押し込みます。いったん指を離してから、SDメモリーカードを引き抜いてください。

ヒント

SDメモリーカードへデータの書き込みやデータの読み出しを行っているときは、メモリーカードアクセスランプが点灯します。

ネットワーク（LAN）に接続する

本機のLAN端子（181ページ）に、ADSLモデム、家庭や職場などのネットワーク（LAN）を直接接続することができます。
インターネットに接続したり、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。
ネットワークに接続するために必要な周辺機器については、お使いになるADSLモデムの取扱説明書をご覧になるか、ご加入のプロバイダーなどのネットワークのシステム管理担当者にご相談ください。
また、ネットワークに接続するための設定については、ご加入のプロバイダーの設定方法や、お使いになるADSLモデムや接続している周辺機器の取扱説明書を参照して設定を行ってください。
職場などでは、職場のネットワーク管理担当者にご相談ください。

！ご注意
LAN端子に次のネットワークや回線を接続すると、端子に必要以上の電流が流れ、故障の原因になります。特に、ホームテレホンやビジネスホンなどの回線には、絶対に接続しないでください。

- 1000BASE-T、100BASE-TXまたは10BASE-Tタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

無線LANでできること

無線LANは、ケーブル接続のわずらわしさを一切なくし、無線でLAN(ローカルエリアネットワーク)環境を構築できます。
無線LANには以下の規格があります。本機が対応している無線LAN規格については、VAIOのホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/)でご確認ください。

無線LAN規格	**使用周波数帯**	**最大通信速度 (理論値)**	**備考**
IEEE 802.11a	5 GHz帯	約54 Mbps	• IEEE 802.11a/b/g/n搭載モデルでのみ使用できます。 • 2005年5月および2007年1月の電波法改正により、使用周波数(チャンネル)が変更／追加になりました。
IEEE 802.11b	2.4 GHz帯	約11 Mbps	
IEEE 802.11g	2.4 GHz帯	約54 Mbps	
IEEE 802.11n	2.4 GHz帯／5 GH z 帯	約150/300/450 Mbps*	IEEE 802.11b/g/n搭載モデルでは2.4 GHz帯のみ使用できます。

* IEEE 802.11nに対応している場合、その最大通信速度についてはVAIOのホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/)でご確認ください。

!ご注意

- 最大通信速度は理論値で、実際の数値は本機や無線LANアクセスポイントの仕様や、使用環境などにより異なります。
- 画面に表示される通信速度と実際の接続速度は異なる場合があります。
- 外出先で無線LAN通信を行う際は、無線LAN接続サービスを提供する会社との契約が必要となる場合があります。
- 5 GHz無線LAN機能と2.4 GHz無線LAN機能とでは、使用している周波数帯域が異なるため、互いに接続することはできません。
- 本機で2.4 GHz無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、お互いの電波が影響し合い、通信速度などに影響を及ぼす場合があります。

無線LANでインターネットに接続するまでの流れ

手順1

接続する回線の種類を決める

「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（43ページ）。

手順2

プロバイダーと契約する

手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダーを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダーからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3

回線装置などを接続・設定する

プロバイダーから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意

接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダーから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4

本機を設定する

「無線LANで通信する」をご覧になり、無線LANに必要な設定をします（44ページ）。

！ご注意

- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティー対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダーもあります。
- 接続料金はプロバイダーにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。

FTTH（光）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH（光）と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH（光）ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

お問い合わせ先は、知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダー接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバーなど）	プロバイダー
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダー
コンピューター側の設定	VAIOカスタマーリンク

無線LANで通信する

本機と無線LANアクセスポイント(別売り)をつなぎます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。
「無線LANでインターネットに接続するまでの流れ」(42ページ)の手順3までを行ってから、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。

1 WIRELESSスイッチを「ON」にあわせる。

2 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク(または)アイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先の無線LANアクセスポイントを選択し、[接続]をクリックする。

接続されると、選択した無線LANアクセスポイントの欄に「接続」と表示されます。
リストに接続先の無線LANアクセスポイントが見つからない場合は、 (更新)をクリックしてください。
セキュリティー キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じてセキュリティー キーを入力し、[OK]をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

ヒント
セキュリティー キーを入力していったん接続すると、その無線LANアクセスポイントが登録され、次回以降接続するときはセキュリティー キーを入力せずに接続できます。

!ご注意
- 無線LANのモードで、2.4 GHz無線LANを無効にしている場合はアクセスポイントに接続できません。
また、本機は5 GHz無線LANの無線LANアクセスポイントには接続できません。
- 無線LANで通信をする際、接続先の無線LANアクセスポイントの認識と接続にしばらく時間がかかることがあります。

無線LANアクセスポイントとの接続状況を確認するには

通知領域にあるネットワーク（ または ）アイコンにポインターをあわせると、無線LANアクセスポイントとの接続状況などを確認することができます。

無線LANアクセスポイントの個別情報を確認するには

1 （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット]をクリックする。

3 [ネットワークと共有センター]をクリックする。

4 画面左側の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。

「ワイヤレス ネットワークの管理」画面が表示されます。

5 「表示、修正、並べ替えが可能なネットワーク」のリストから確認したいものを選んで右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

プロパティー画面が表示され、無線LANアクセスポイントの詳細情報を確認できます。

接続先を新規に作る／切り替えるには

接続先を新規に作ったり、無線LANで接続中に他の無線LANアクセスポイントに接続を切り替えることができます。
詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

1

（スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2

[ネットワークとインターネット]をクリックする。

3

[ネットワークと共有センター]をクリックする。

4

画面左側の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。

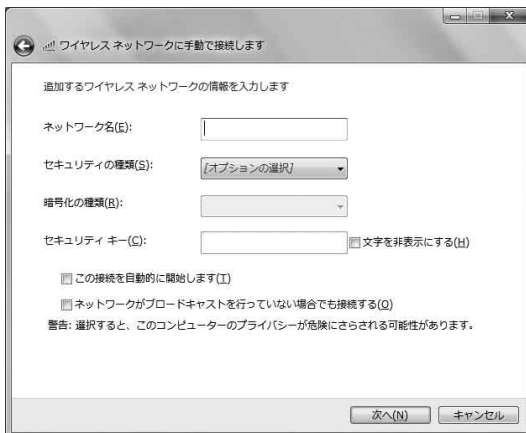
「ワイヤレス ネットワークの管理」画面が表示されます。

5

[追加]をクリックする。

「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」画面が表示されます。

6

[ネットワーク プロファイルを手動で作成します]をクリックする。

7 お使いになるアクセスポイントにあわせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先の無線LANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

!ご注意

お使いのアクセスポイントによっては、IEEE 802.11nで通信するときに、「セキュリティの種類」で「WEP」を選択した場合、または「暗号化の種類」で「TKIP」を選択した場合にはアクセスポイントとの伝送速度が最大54 Mbpsに制限されます。

ヒント

- セキュリティー キーについては「セキュリティー キーについて」(48ページ)をご覧ください。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]をクリックしてチェックしてください。
- アクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]をクリックしてチェックしてください。

接続可能な無線LANアクセスポイントの優先度を設定するには

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット]をクリックする。

3 [ネットワークと共有センター]をクリックする。

4 画面左側の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。

「ワイヤレス ネットワークの管理」画面が表示されます。

5 「表示、修正、並べ替えが可能なネットワーク」のリストから順位を変更したいものを選び、[上へ]または[下へ]をクリックする。

セキュリティー キーについて

ワイヤレス（無線） LANの通信を暗号化するために用いられるキー情報のことです。「暗号キー」、「Encryptionキー」、「WEPキー」などとも言います。
同じキー情報を使用する無線LANアクセスポイントやコンピューター間でのみ無線LAN通信を行うことができます。
セキュリティー キーはあらかじめ各アクセスポイントに設定されています（不正な使用を防ぐためにも、セキュリティー キーがお買い上げ時の設定から変更されていることをご確認ください）。セキュリティー キーが分からない場合は、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧いただくか、アクセスポイントの管理者にご確認ください。

無線LANの通信を終了するには

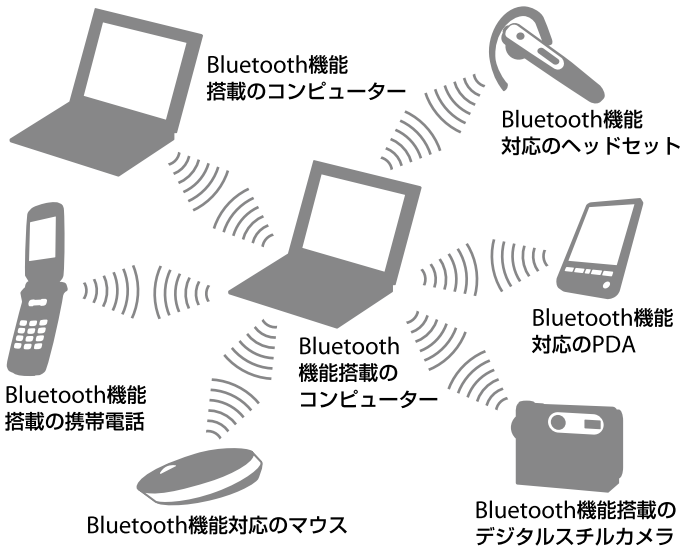
WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせます。

Bluetooth機能でできること

Bluetooth機能は、ケーブル接続のわずらわしさを一切なくし、近距離間の無線通信を実現する技術です。
本機とBluetooth対応のコンピューターや携帯電話、モデム、PDA、デジタルスチルカメラ、ヘッドセット、マウスなどをケーブルでつなぐことなく、手軽に無線通信をすることができます。
Bluetooth機能は、パーソナルネットワーク市場に革命をもたらす画期的なワイヤレス通信技術です。小規模で低コストなワイヤレス通信技術の世界標準規格として、ノートブックコンピューターや携帯電話、その他のモバイル機器を結び、さらにインターネットへの接続も可能にします。
電気通信、コンピューター、ネットワーク分野の世界主要メーカーで構成するBluetooth SIG（Special Interest Group）によって技術の標準化が行われ、参加企業により技術開発と製品化が進められています。Bluetooth SIGには、現在ソニーを含む2,000社以上のノートブックコンピューター、携帯電話、家電機器のメーカーなどが全世界から参加しています。

！ご注意

- Bluetooth対応機器は、ご使用の機器やソフトウェアのバージョンなどによって、正しく動作しない場合があります。Bluetooth対応機器をご購入の際は、あらかじめ動作環境をご確認ください。
  VAIOのBluetooth対応機器に関する情報は、VAIOサポートページなどでご確認ください。
  機器によっては、認証されていない機器間の接続を拒否するように設定されています。接続するには、接続する機器との認証が必要になります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。

接続形態

Bluetooth機能を使うと、1台の機器が同時に最大7台の機器と無線ネットワークで接続し、データをやりとりすることができます。

接続したい機器が周辺にあるBluetooth対応機器に呼びかけ、呼びかけに応えたBluetooth対応機器に接続することができます。

コンピューターのような機器は、周辺にあるBluetooth対応機器に呼びかけることができ、また、周辺のBluetooth対応機器からの呼びかけに応えることもできます。

速度

Bluetooth機能は、最大2.1 Mbps（通信相手機器のバージョンによっては最大721 kbps）のデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は、Bluetooth対応機器のバージョン、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。

通信距離と電力

Bluetooth対応機器には、見通し距離最長100 ～ 10 m* で通信できるPower Class 1の機器と、見通し距離最長10 m* で通信できるPower Class 2, 3の機器があります。

* 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

Bluetooth標準規格とは

各社のBluetooth対応機器がBluetooth機能を使ってスムーズに通信ができるように、Bluetooth SIGがBluetooth標準規格として、無線通信の方式、セキュリティーの方式、用途別のデータ通信方式などを定めています。
すべてのBluetooth対応機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を受けることが義務付けられています。
ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によって操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

Bluetooth機能で通信する

Bluetooth機能で通信するには

本機からBluetooth対応機器に接続します。
通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
Bluetooth機能を使って行える通信については、「Bluetooth機能でできること」をご覧ください。
（49ページ）

！ご注意
接続するBluetooth対応機器によっては、下記の手順と異なる場合があります。接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 WIRELESSスイッチを「ON」にあわせる。

2 （スタート）ボタン－［デバイスとプリンター］をクリックする。

「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

3 ［デバイスの追加］をクリックする。

以降、画面の指示に従いデバイスを登録してください。

ヒント
操作について詳しくは、（スタート）ボタン－［ヘルプとサポート］をクリックして表示される「Windows ヘルプとサポート」でBluetoothの項目を検索してください。

！ご注意
本機でBluetooth機能と2.4 GHz無線LAN機能を同時に使用すると、お互いの電波が影響し合い、通信速度などに影響を及ぼす場合があります。

パスキーの入力を促す画面が表示されたら

他のBluetooth対応機器から接続の認証要求を受けています。
通信するには、本機と相手先の機器との間で相互に認証を行う必要があります。
パスキーの入力を促す画面が表示されたら、画面の指示に従ってパスキーの交換を行ってください。
接続しない場合は、パスキーの入力を促す画面で[キャンセル]をクリックしてください。

パスキーとは

2台のBluetooth対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。同一の英数字（大文字、小文字の区別あり）を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力しさえすれば、毎回異なったパスキーを用いてもかまいません。使用するパスキーは、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。一定時間以上Bluetoothパスキーの入力が行われない場合、セキュリティーのために接続処理は中止されます。操作をもう1度やり直してください。

Bluetooth通信を終了するには

次の手順でBluetooth通信を終了します。

1. 接続中のBluetooth対応機器のBluetooth機能をオフにする。

2. WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせる。

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
- BIOSの機能を使ってパスワードを設定することもできます。（56ページ）

Windowsパスワードを登録する

1　**(スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2　**[ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。**

3　**[ユーザー アカウント]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4　**[アカウントのパスワードの作成]をクリックする。**

5　**「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。**

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

6　**[パスワードの作成]をクリックする。**

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

文字（アルファベットの大文字）
A, B, C, D, E ...

文字（アルファベットの小文字）
a, b, c, d, e ...

数字
0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

記号（文字または数字として定義されないもの）
` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ | : ; " ' <
> , . ? /

Windowsパスワードを変更する

1 (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4 [個人用パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除する

1 (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4 [個人用パスワードの削除]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

パスワードのヒントを変更する／削除するには

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4 [個人用パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」と「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」にパスワードを入力する。

6 「パスワードのヒントの入力」に新しいヒントを入力するか、ヒントを削除する場合は空欄のままにする。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

パスワードを登録する

BIOSの機能でパスワードを設定します。
本機の起動時に設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。
大切なデータを守りたいときなどに便利です。
パスワードには、以下の2種類があります。

- **マシンパスワード(管理者用)**
  「コンピューターの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  マシンパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面でのすべての設定が可能になります。
- **ユーザーパスワード(管理者以外のユーザー用)**
  本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。
  ユーザーパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面での一部の設定が可能になります。
  マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

!ご注意

- パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マシンパスワードを入力することでBIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  - マシンパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することはできません。
    修理(有償)が必要となります。
    VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

マシンパスワード

1 本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

3 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

4 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

Enterキーを押して[Enabled]を選択します。

5 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ユーザーパスワード

1 本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

5 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パスワードを変更する／削除する

マシンパスワード

1 **本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 **「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。

3 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。

4 **現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。**

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

5 **←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。**

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ユーザーパスワード

1 **本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 **「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力する。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。

3 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。

4 **現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。**

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

5 **←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。**

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パスワードを忘れてしまったときは

パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。

ユーザーパスワードの場合

マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。

マシンパスワードの場合

パスワード設定を解除することはできません。
修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

新しいユーザーアカウントを作成する

ユーザーアカウントを追加すると、複数のユーザーがコンピューターを使う場合に便利です。
ユーザーごとにファイルなどにアクセス制限をかけたり、デスクトップなどの設定を使い分けたりすることができます。

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」または「ユーザー アカウント」の[ユーザー アカウントの追加または削除]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

!ご注意
管理者アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力するか、管理者アカウントを持つユーザーでログオンしてから操作してください。

3 [新しいアカウントの作成]をクリックする。

4 アカウントの名前を入力し、アカウントの種類(「標準ユーザー」または「管理者」)を選んで[アカウントの作成]をクリックする。

アカウントが作成されます。
アカウントの種類によって権限が異なります。
詳しくは、右記の「ユーザーアカウントの種類と権限について」をご覧ください。

ユーザーアカウントの種類と権限について

ユーザーアカウントには下記の3種類があります。アカウントの種類により、ファイルやプログラムにアクセスできる権限が異なります。

- **コンピューターの管理者(Administrator)アカウント**
  コンピューターの管理者アカウントは、コンピューター上のすべてのファイルにアクセスでき、すべての機能を実行できます。
- **標準アカウント**
  標準アカウントは、コンピューターのほとんどの機能を実行できる一般的なアカウントです。
  管理者アカウントと比較すると、他ユーザーの設定変更や各種パスワード、コンピューター設定の変更など、一部の管理機能が制限されています。
- **Guest アカウント**
  コンピューター上にユーザーアカウントを持っていないユーザーのために用意された簡易アカウントです。
  パスワードが設定されていないため、すばやくログオンしてメールの確認やインターネットの閲覧が行えます。パスワードで保護されたファイルやフォルダーへのアクセス、および設定はできません。

起動デバイスを変更する

BIOSの機能で、起動デバイスの優先順位を変更できます。

1 **本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 **←または→キーで[Boot]を選択する。**

3 **↑または↓キーで変更したい起動の優先順位(Boot Priority)を選択する。**

4 **F5キーまたはF6キーで、起動の優先順位を変更する。**

5 **←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。**

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

外付けCD ／ DVDドライブや外付けUSBフロッピーディスクドライブから起動する場合

1 **本機に外付けドライブを接続した状態で、本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを押す。**

その後、つないだドライブからの起動が始まります。

！ご注意

- 上記のドライブ以外の装置ははずしてください。ドライブによっては、起動が正常にできなかったり、本機で使用できない場合があります。
- 外付けドライブにACアダプターが付属されている場合は、必ず電源に接続してお使いください。

インターネットの セキュリティーについて

コンピューターを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティーについてご紹介いたします。

コンピューターウイルスとは

コンピューターウイルスとは、コンピューターに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピューターウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。

コンピューターウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピューターウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピューターウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピューターウイルス対策用ソフトウェアは、コンピューター内にコンピューターウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピューターウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」があらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」を設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。
また、お使いの機種によってはスパイウェア対策を行う「Spy Sweeper」も用意されています。

!ご注意

複数のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを同時に使用すると、正常に動作しない場合があります。「マカフィー・PCセキュリティセンター」以外のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを使用する場合は、「マカフィー・PCセキュリティセンター」をコントロールパネルからアンインストール(削除)してください。削除方法について詳しくは、Windowsのヘルプとサポートをご覧ください。コンピューターウイルス対策用ソフトウェアについて詳しくは、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
なお、「マカフィー・PCセキュリティセンター」を削除後の本機の動作保証はいたしません。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピューターウイルスは、コンピューターウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
Windowsのセットアップでコンピューターの保護の設定を有効にしていると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバーの更新はおすすめしません。ドライバーの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバーを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバーを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/windows/update/

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピューターに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」のファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティーについて

セキュリティーやコンピューターウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティーやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティー情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティーに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティー専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

セキュリティーソフトウェアのお問い合わせ先について

マカフィー・PCセキュリティセンター

1　マカフィー･テクニカルサポートセンター

- 製品のインストールに関するお問合せ
- マカフィー製品の使いかた、設定方法
- マカフィー製品に絡むコンピューターの障害

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

- ユーザー登録方法
- 契約情報の確認、更新
- キャンペーンに関するご相談

電話番号：

1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）

※いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：

1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
年中無休　9時～ 21時

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜　9時～ 17時（祝日、祭日は除く）

電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp

ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

使用済みコンピューターの回収について

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、下記の「使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約」をご覧ください。

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
より、事業者向けのページをご覧ください。

使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約

ソニー株式会社(以下、「当社」と言います。)は、お客様がご家庭で使用済みとなったパーソナルコンピュータを再資源化するために回収させていただくサービスを、本使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約(以下、「本規約」と言います。)に基づいて実施いたしております。
本規約にご同意いただける場合には、所定の手続きに従ってお申込みの上、ご家庭で使用済みとなったパーソナルコンピュータを当社にお引渡しください。

第1条(目的)

1. 本規約は、「資源の有効な利用の促進に関する法律(以下、「資源有効利用促進法」と言います。)に基づき、個人のお客様がご家庭から排出されるパーソナルコンピュータに関し、資源の有効な利用の確保を図ることを目的として規定されたものです。
2. お客様は、本規約に従って、当社に対して排出パソコンの回収再資源化を委託し、当社はこれを受託するものといたします(以下、「回収委託業務」と言います。)。なお、当社は、本規約に基づく回収委託業務の全部または一部を当社の選任した第三者(以下、「協力会社」と言います。)に行わせることがあります。

第2条（定義）

1. 本規約にいう「排出パソコン」とは、当社が製造・販売したパーソナルコンピュータのシステム装置本体部分、ディスプレイ装置、及びこれらの販売にあたって同梱されていた付属品（当社が本体を出荷する際に一緒に梱包したマウス･キーボード等のいわゆるハードウェア）（以下、「パソコン」と言います。）であって、個人のお客様がご家庭で使用され、ご家庭から排出したものを意味します。
2. 本規約にいう「回収」とは、当社が、本規約第7条によりお客様から排出パソコンの引渡しを受けることを意味します。

第3条（回収の対象）

1. 排出パソコンは全て回収の対象となります。ご家庭で使用され、ご家庭から排出したものであれば、ディスプレイ装置単体も排出パソコンとして回収の対象となります。なお、第2条第1項で定める通り、当社が回収する排出パソコンは当社が製造・販売したものに限り、他社製品は回収の対象とはなりません。
2. 以下の各号に定める物は回収の対象となりません。ご注意ください。
（1）フロッピーディスク、CD-ROM、DVD-ROM等の記憶媒体
（2）販売にあたって同梱されていない周辺装置等
（3）ワードプロセッサ、携帯情報端末（PDA）、ゲーム機器及びプリンター
（4）説明書、案内書、カタログ、はがき等の添付品

第4条（排出パソコン回収の申込み方法）

1. 排出パソコンの回収委託業務の委託に際しては、必ず事前に当社に申込みを行ってください。事前の申込みがない場合には、排出パソコンのお引取りはできません。お申込み無しに排出パソコンを当社宛に送付されても、お客様の費用負担により返還させていただくことになります。
2. 排出パソコンの回収は、当社ホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/に定める方法によってお申込みを行ってください。
3. 前項の申込みについては、お客様の申込みの意思表示が当社に到達したときになされたものといたします。申込みを行ったにも拘らず、当社または当社の委託を受けた回収業者から、なんら連絡が無い場合には、当社のソニーパソコンリサイクル受付センター（連絡先電話0570-000-369）にご確認ください。携帯電話またはＰＨＳ等移動体電話からの場合は別の番号となります。当社ホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/をご覧ください。
4. 未成年のお客様は、必ず保護者の同意を得てからお申し込みください。

第5条（回収再資源化料金）

1. 排出パソコンに、PCリサイクルマークが付いている場合、新たな料金負担無しで、当社が当該排出パソコンを回収再資源化いたします。
2. PCリサイクルマークが付いていない排出パソコンのうち、お客様が2003年10月1日以降に購入されたものは、新たな料金負担無しで、当社が当該排出パソコンを回収再資源化いたします。但し、2003年10月1日以降に事業者が新規に購入したパソコンが、その後個人のお客様に転売され、ご家庭での使用に供され、排出パソコンとなったものは、以下第3項に定める場合と同様の取り扱いとなります。

3.　PCリサイクルマークが付いていない排出パソコンのうち、お客様が2003年9月30日以前に購入されたものは、回収前に、当社所定の回収再資源化料金をお支払いいただきます。回収再資源化料金には、本規約に基づく回収に要する費用、排出パソコンの再資源化に要する費用及び消費税が含まれています。
回収再資源化料金の支払方法は以下の通りです。
(1)郵便振替
(2)コンビニエンスストア振込
(3)クレジットカード決済(当社ホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/を通じて直接申込みをされた場合のみ)
(1)または(2)の場合は、振込用紙をお送りいたします。振替または振込に要する手数料等は当社で負担いたします。
4.　当社は、お客様による回収再資源化料金の支払方法で郵便振替及びコンビニエンスストア振込の場合はお支払いの後に、クレジットカード決済の場合は当社ホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/を通じた直接の申込みの受付完了の後に、排出パソコンの回収を行うものといたします。
当社は、回収再資源化料金の郵便振替及びコンビニエンスストア振込のお支払完了、並びにクレジットカード決済による当社ホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/を通じた直接の申込みの受付完了が確認できない場合には回収を行いません。
5.　本条第3項第(1)号及び第(2)号の方法による回収再資源化料金の支払いを選択された場合、合理的理由が無いにも拘らず、回収委託業務の申込み日の翌営業日から30日以内に回収再資源化料金の支払いが確認できなかった場合には、かかる申込みはお客様により撤回されたものといたします。
(この場合、お客様が回収を希望するのであれば、再度申込みを行ってください。)
6.　本規約第12条に基づく解除がなされた場合を除き、回収再資源化料金の返還はできませんので、ご了承ください。
7.　お客様の故意・過失により、過分の費用を要した場合には、本条第１項乃至第3項の規定に拘らず、超過分の費用をお支払いいただきます。
8.　以下の各号いづれかが満たされることをもって申込みにかかる排出パソコンに関する回収委託業務のお客様から当社への委託にかかる契約(以下「回収委託契約」と言います。)が成立するものとします。
(1)排出パソコンにPCリサイクルマークが付いている場合、及び、PCリサイクルマークが付いていない場合で2003年10月1日以降にお客様が購入した時(第5条第2項但書の場合を除く)には、前条第3項に定めるお客様の申込みの意思表示が当社に到達したとき。
(2)排出パソコンにPCリサイクルマークが付いていない場合で2003年9月30日以前にお客様が購入された時(第5条第2項但書の場合を含む)には、お客様による回収再資源化料金の郵便振替及びコンビニエンスストア振込のお支払い、またはクレジットカード決済による当社ホームページhttp://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/を通じた直接の申込みの受付が完了したとき。

第6条（回収方法）

1. 回収の申込み及びPCリサイクルマークの付いていない排出パソコンでお客様が2003年9月30日以前に購入の場合（第5条第2項但書の場合を含む）について所定の回収再資源化料金のお支払いがなされると、「エコゆうパック伝票」をお送りいたします。回収の際には排出パソコンを必ず梱包し、梱包上に「エコゆうパック伝票」を貼付してください。
2. 排出パソコンの回収方法については、下記の二つの方法を選択することができます。
（1）持込回収：全国の郵便局（簡易郵便局を除く。）に排出パソコンを持込んでいただく方法。
（販売店等、郵便局以外の場所にご持参いただいてもお引取りすることはできません。以下、「持込回収」と言います。）
（2）戸口回収：郵便局の集荷員がお客様の戸口まで伺った上で、排出パソコンの引渡しを受ける方法。
（戸口回収を希望される場合には、お送りする「エコゆうパック伝票」に記載されている集配郵便局に直接電話で申込みいただき、回収日時をご相談ください。以下「戸口回収」と言います。）

第7条（排出パソコンの引渡し）

1. 排出パソコンは、郵便局でお客様の排出パソコンを受領した時（持込回収の場合）、または郵便局の集荷員がお客様の排出パソコンを受領した時（戸口回収の場合）に、当社に対して引き渡されたものといたします。
2. お客様が「エコゆうパック伝票」以外のゆうパック伝票を用いて、当社宛に排出パソコンを送付されまたは郵便局に持ち込まれても、引渡しを受けることはできません。また、郵便局以外の宅配会社を通じて、お客様から直接、当社または郵便局宛に排出パソコンを送付されても、引渡しを受けることはできません。

第8条（回収後の排出パソコンのデータの取扱い等）

1. 前条の引渡しが行われた場合、お客様は、排出パソコン自体及び同パソコンのハードディスクやメモリ等に記録されたデータに対する一切の権利（所有権を含むがこれに限らない）を放棄したものといたします。
2. 当社は、排出パソコンの引渡し後は、お客様や第三者に対する排出パソコンの返還や、ハードディスク・メモリ等に記録されたプログラム・データ等の復元・返還等については応じられません。
また、これによりお客様または第三者に何らかの損害が発生しても当社は一切の責任を負いません。
3. 排出パソコンの引渡しに際し、当該パソコンに、本規約第3条で規定する排出パソコン以外の媒体・部品・ユニット・付加物・変更物等が残存している場合、お客様はこれらのものに対する一切の権利を放棄したものとさせていただき、当社において自由に処分等をなしうるものといたします。なお、当該媒体・部品・ユニット・付加物・変更物等については、前項の規定を準用するものといたします。
4. お客様は、排出パソコンの引渡しまでに、お客様の責任において、プログラム・データ等を全て消去してください。
お客様が排出パソコンに含まれるプログラム・データ等の消去・削除等を行わないまま、当社に引渡しを行なった場合には、当社は、それらの破壊・漏洩等について、一切の責任を負いません。

第9条（お客様の個人情報の取扱い）

1. 排出パソコンの回収に伴い、当社に登録されたお客様の氏名、住所等の個人情報（以下、「お客様の個人情報」と言います。）は、排出パソコンの回収に必要な範囲でのみ利用させていただきます。法令により例外として認められた場合を除き、あらかじめお客様のご同意を得ることなく、本項に定める目的以外の利用はいたしません。

2. 当社は、お預かりしたお客様の個人情報を、第1項に記載の利用目的の範囲内で正確、最新の内容に保つように努め、不正なアクセス、改ざん、漏えいなどから守るべく、現時点での技術水準に合わせた必要かつ適切な安全管理措置を講じます。なお、当社は利用目的の達成により保管の必要が無くなったと判断した場合には、お客様の個人情報を速やかに消去いたします。

3. 当社は、下記の場合を除き、あらかじめお客様のご同意なくお客様の個人情報を第三者に提供いたしません。

（1）第1項に記載の利用目的の実行のために必要な業務を、当社が他社に委託した場合で、当該委託先に対して、お客様の個人情報の提供が必要な場合。（なお、当社は、当該委託先を、十分な個人情報のセキュリティ水準にあることを確認のうえ選定し、契約等を通じて、必要かつ適切な監督を行います。）

（2）司法機関または行政機関から法令に基づく要請を受け、要請理由が妥当と判断した場合。

（3）人の生命、身体、財産を保護するために提供する必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難である場合。

（4）合併、会社分割、営業譲渡その他の事業承継の場合。

4. お客様が、お客様の個人情報を照会する場合は、第4条に記載するソニーパソコンリサイクル受付センターにご連絡ください。

5. お客様が、お客様の個人情報のすべてまたは一部の利用の中止を希望される場合には、第4条に記載するソニーパソコンリサイクル受付センターにご連絡ください。可能な限り、対処させていただきます。

第10条（回収後の排出パソコンの取扱い）

引渡し後の排出パソコンにつきましては、資源有効利用促進法等の法律に従って、当社の定める方法により再資源化・再利用等いたしますが、再資源化・再利用等の手段・方法について、お客様に対して責任を負うものではありません。

第11条（お引取りできない場合）

以下の場合には、お客様から回収申込みがあっても、当社として回収委託業務を受託できず、排出パソコンのお引取りをお断りさせていただく場合があります。

（1）回収申込みのあったパーソナルコンピュータが、当社の製造・販売した製品ではなかった場合。

（2）本規約第3条第2項により、回収の対象とならないものであった場合。

（3）排出パソコンに改造が加えられ、または正当な理由無く部品やユニットが抜き取られ、当社が製造販売したシステム装置等と同一性が認められないと当社が判断した場合。（なお、回収にあたっては、お客様が排出パソコンに独自に付加・変更された媒体・部品・ユニット・付加物・変更物等について、取外し等をお願いする場合もあります。）

（4）回収申込みのあったパーソナルコンピュータが、個人が家庭用に使用したものではなかったことが判明した場合。

(5)お客様が排出パソコンの正当な所有権者・処分権者であることに疑いがあると当社が判断した場合。
(6)回収申込みをされたお客様が回収再資源化料金の支払いを行えないことが明らかな場合。
(7)排出パソコンが破損していて輸送時の安全が確保できない場合。
(8)その他、前各項に定める事由に類する事由がある場合。

第12条(解除)

1. お客様は、本規約第7条規定の引渡し前であれば、いつでも本規約に基づく回収委託契約の申込みを撤回し、または回収委託契約を解除することができます。解除を希望されるお客様は当社のソニーパソコンリサイクル受付センターに通知していただき、当社所定の手続きに従い解除の意思表示をしてください。
2. 当社は、以下の事由に該当するときには、排出パソコンの引渡しの前後を問わず、本規約に基づく回収委託契約を解除することができます。
(1)排出パソコンが、以下に定めるいずれかに該当するとき。
 ① 回収申込みのあったパーソナルコンピュータが当社の製造・販売した製品ではない場合。
 ② 本規約第3条第2項により、回収の対象とならないものであった場合。
 ③ 排出パソコンが改造され、または、正当な理由無く部品やユニットが抜き取られており、当社が製造販売したパソコンと同一性が認められないと当社が判断した場合。
 ④ お客様が回収を申し込まれた排出パソコンの品名・型名・数量と引渡しにかかる排出パソコンの品名・型名・数量とが異なる場合。
 ⑤ 回収申込みのあったパーソナルコンピュータが、個人が家庭用に使用したものではなかったことが判明した場合。
 ⑥ 排出パソコンの回収申込者が、当該パソコンの正当な所有者・処分権者ではないと当社が判断した場合。
(2)お客様が第5条第2項但書及び第5条第3項に基づき回収再資源化料金支払義務を負うにも拘らず、その支払いがなされず、または支払われた回収再資源化料金が所定の金額に満たないとき。
(3)当社がお客様の指定した住所に発行した「エコゆうパック伝票」を送付した後、合理的な理由が無いにも拘らず、当社による「エコゆうパック伝票」発行後60日間が経過したにも拘らず排出パソコンの引渡しがなされなかった場合。
(4)その他前各項に定める事由に類する事由がある場合。
3. 本条に基づく回収委託契約の解除により、当社に損害が生じたときは、当社はお客様に対し損害賠償の請求等を行うことができるものといたします。

第13条(解除後の処理)

1. 前条第1項に基づきお客様から解除の意思表示のあった場合、それまでに発生した費用をご負担いただくことがあります。
2. 前条第1項または第2項に基づいて本規約に基づく回収委託契約の解除がなされた場合の処理については以下のようになります。
(1)お客様が第5条第2項但書及び第5条第3項に基づき既に回収再資源化料金を支払い済みでありかつ、当社がまだ排出パソコンの引渡しを受けていない場合
当社は、お客様に対し、回収再資源化料金を返還いたします。この場合、返還までに要した費用・損害等は、お客様にご負担いただきます。

(2)当社が既に排出パソコンの引渡しを受けている場合
お客様が回収委託契約を解除したとき、当社は、受領済みの排出パソコンを返還いたしませんが、当社が回収委託契約を解除したとき、当社は、お客様に対し、受領済みの排出パソコンを返還することができるものといたします。この場合、排出パソコンを返還するまでに要した費用はお客様にご負担いただきます。なお、返還するパソコンの動作や概観等について、当社は一切の責任を負いません。
但し、既に再資源化処理がなされてしまった場合等、排出パソコンの返還が不可能となっている場合には返還いたしません。
3. 解除により、お客様または第三者に損害が生じた場合であっても、当社はお客様または第三者に対し一切の責任を負いません。

第14条(責任の範囲)

1. 回収委託業務により、お客様に対して当社の責に基づく損害が発生し、当社が損害賠償責任等を負う場合、賠償責任の範囲は、排出パソコンの回収再資源化料金相当額を限度とする金銭賠償に限られるものといたします。
2. 本規約は、強行法規に基づくお客様の権利を制限するものではありません。
3. 本規約に基づくお客様の権利義務は、第三者に譲渡することはできないものといたします。

第15条(定めのない事項等)

本規約に定めのない事項または本規約の解釈に疑義が生じた場合には、お客様と当社において誠実に協議を行うことといたします。

第16条(管轄裁判所)

前条の協議によってもなお本規約に関わる紛争が解決できない場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所といたします。

第17条(適用法令)

本規約は日本国内でのみ有効とし、本規約に定めのない事項については、民法その他関係諸法令を適用するものといたします。

第18条(規約の改定)

本規約は当社によって改定される場合があります。本規約は末尾に示す制定日または改定日時点のものであり、お客様が第4条に従い排出パソコン回収の申込みをされる時点では改定されている可能性があります。この場合、お客様が第4条に従い排出パソコン回収の申込みをした時点の本規約が、当該排出パソコン回収に関して適用されるものといたします。最新版の本規約は当社のホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/にてご確認ください。

以上

(2003年10月1日制定)
(2003年12月1日改定)
(2004年4月1日改定)
(2005年6月1日改定)
(2006年1月16日改定)

ソフトウェア使用許諾契約について

！ご注意
この度は弊社パーソナルコンピューター製品（以下本製品とします）をお買い上げいただきありがとうございます。本製品にはソフトウェア製品が同梱又はプリインストールされていますが、当該ソフトウェアをご使用いただく前に、必ず各々のソフトウェア使用許諾契約書をあらかじめお読み下さい。ソフトウェア製品の中には、①各製品の権利者が定めるソフトウェア使用許諾契約書を伴うものと、②そのような個別のソフトウェア使用許諾契約を伴わないものがあります。個別のソフトウェア使用許諾契約書を伴わない各々のソフトウェア（以下許諾ソフトウェアとし、コンピューターソフトウェア、媒体、マニュアルなどの関連書類及び電子文書を含みます）に関しては、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読み下さい。お客様による許諾ソフトウェアの使用開始をもって、下記のソフトウェア使用許諾契約書にご同意いただいたものとします。なお、許諾ソフトウェア以外のソフトウェアのご使用は、各ソフトウェアの権利者の定める使用許諾条件に従っていただくものとします。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下お客様とします）とソニー株式会社（以下ソニーとします）との間での許諾ソフトウェアの使用権の許諾に関する条件を定めるものです。

第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーからお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

第2条（使用権）

1. ソニーは、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、許諾ソフトウェアが同梱又はプリインストールされる本製品においてのみ、お客様が許諾ソフトウェア1部を使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写したり、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。本製品に同梱されているシステムリカバリーメディア、アプリケーションリカバリーメディア又は、お客様が作成したシステムリカバリーメディア（以下併せてリカバリーメディアとします）は、本製品に同梱されお客様がインストールした、又は本製品にプリインストールされていた許諾ソフトウェアが何らかの理由で使用不能となった場合に、本製品から当該許諾ソフトウェアを削除の上、許諾ソフトウェアを本製品に再インストールするためにのみ使用することができるものとします。

第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. 各許諾ソフトウェアはそれぞれ1つの製品として、本製品における使用を条件に許諾されています。お客様は別途ソニーが付属ドキュメント等で定める場合を除き許諾ソフトウェアの一部又はその構成部分を許諾ソフトウェアから分離して使用しないものとします。
3. 許諾ソフトウェアを用いて、ソニー又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。

4. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. お客様は、本契約に基づいて、本製品と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、媒体、マニュアルなどの関連書類、電子文書、リカバリーメディア及び本契約書を含みます)を譲渡し、かつ譲受人が本契約の条項に同意することを条件とします。
6. 許諾ソフトウェアの使用に伴い、許諾ソフトウェアが自動的に許諾ソフトウェアで用いるためのデータファイルを作成する場合があります。この場合、当該データファイルは許諾ソフトウェアと看做されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー又はソニーが本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利をソニーに認めた原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(責任の範囲)

1. ソニー及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。但し、ソニー及び原権利者は、当該エラー、バグ等の不具合に対応するため、許諾ソフトウェアの一部を書き換えるソフトウェア若しくはバージョンアップの提供による許諾ソフトウェアの修補、許諾ソフトウェアの郵送による交換又は許諾ソフトウェア中の他社製ソフトウェアについての問い合わせ先の通知を行うことがあります。本項に定めるソフトウェア及びバージョンアップの提供方法はソニーまたは原権利者がその裁量により定めるものとします。また、ソニー及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。
2. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス(当該製品、ソフトウェア又はサービスは第三者が提供する場合に限られず、ソニー又は原権利者が提供する場合も含みます)は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。ソニー及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来に亘って正常に稼動することを保証いたしません。
3. 許諾ソフトウェアにはソニー又はソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。お客様が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、又は、アップデートをするか否かを問い合わせる設定にした場合で且つお客様がアップデートの実行を拒否した場合、お客様による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
4. お客様に対するソニー及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害がソニー又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実に生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明する本製品の購入代金を上限とします。

第6条（著作権保護及び自動アップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令に従うものとします。又、許諾ソフトウェアのうち、著作物の複製、保存及び復元等を伴う機能の使用に際して、ソニーが必要と判断した場合、ソニーが、当該著作物の著作権保護のため、かかる許諾ソフトウェアによる複製、保存、復元等の頻度の記録をとり、状態を監視し、さらに複製、保存及び復元の拒否、本契約の解約を含む、あらゆる措置をとる権利を留保することに同意するものとします。

2. お客様は、お客様がソニー又はソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティー機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び(C)アップデートされた許諾ソフトウェアについても本ソフトウェア使用許諾契約書の各条項が適用されることに同意するものとします。

第7条（契約の解約）

1. ソニーは、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。

2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、ソニーに対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

3. 本条1項の規定により本契約が終了した場合といえども、第4条、第5条、第7条第2項及び第3項並びに第8条第1項及び第3項乃至第5項の規定は有効に存続するものとします。

第8条（その他）

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。

2. お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。

3. 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。

4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。

5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及びソニーは誠意をもって協議し、解決するものとします。

青少年がおられる ご家庭の皆様へ ～ 重要なお知らせとお願い ～

インターネットの発展によって、世界中の人と容易にメールのやりとりをしたり、個人や企業が開設しているインターネット上のサイトを活用したりすることによって、必要なときに必要とする情報を瞬時に検索することが可能となっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害情報という負の側面もあります。
特に青少年にとって、下記のようなインターネット上のサイトは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害など社会問題の発生を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

アダルトサイトが青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信者の側で閲覧の制御を行う技術的手段で、100%万全ではありませんが、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。
特に青少年がおられるご家庭では、ご自宅のパソコンにフィルタリング機能を設定されることをおすすめいたします。

VAIOではWebブラウザーを使ってインターネットを利用するときの「フィルタリング」機能を持つソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」や「i-フィルター」などを用意しています。
「フィルタリング」機能の設定方法については、それぞれのソフトウェアの説明書またはヘルプ、ブラウザーのブックマークからのリンクなどをご確認ください。
お使いの機種やブラウザーによってプリインストールされているソフトウェアや設定方法が異なります。

「フィルタリング」機能を持つソフトウェアがプリインストールされていない機種を選択された場合は、「フィルタリング」機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をご検討されることをおすすめいたします。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルタ」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、それぞれ、機能、利用条件が異なっています。
ソフトウェア提供会社あるいは、お客様が契約されているインターネット事業者に、事前にご確認されることをおすすめいたします。

なお、フィルタリングに関する詳しい情報は、社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手いただけます。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

重要なお知らせについて

本機をお使いになる前にご覧いただきたい大切なご案内が、「重要なお知らせ」にまとめられています。「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていないお客様は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

また、本機の最新サポート情報は、**「VAIOサポートページ」**でご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアは、それぞれお問い合わせ先が異なります。
各ソフトウェアの連絡先へお問い合わせください。

OS

ソフトウェア	お問い合わせ先
Windows(R) 7 Starter 正規版	VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

ソフトウェア	お問い合わせ先
VAIO Media plus（84ページ）	VAIOカスタマーリンク

写真・ビデオ編集

ソフトウェア	お問い合わせ先
PMB VAIO Edition（85ページ）	VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

ソフトウェア	お問い合わせ先
WebCam Companion	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
Skype	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

インターネット・メール

ソフトウェア	お問い合わせ先
Windows Live(TM) Mail	VAIOカスタマーリンク
Windows(R) Internet Explorer(R)	VAIOカスタマーリンク
Googleツールバー	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

セキュリティー

ソフトウェア	お問い合わせ先
マカフィー・PCセキュリティセンター	1 マカフィー・テクニカルサポートセンター ● 製品のインストールに関するお問合せ ● マカフィー製品の使いかた、設定方法 ● マカフィー製品に絡むコンピューターの障害 2 マカフィー・カスタマーオペレーションセンター ● ユーザー登録方法 ● 契約情報の確認、更新 ● キャンペーンに関するご相談 **電話番号：** 1 マカフィー・テクニカルサポートセンター （0570）060-033 （03）5428-2279（IPフォン・光電話のかたはこちらへ） 2 マカフィー・カスタマーオペレーションセンター （0570）030-088 （03）5428-1792（IPフォン・光電話のかたはこちらへ） ※ いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。 **受付時間：** 1 マカフィー・テクニカルサポートセンター 年中無休　9時～ 21時 2 マカフィー・カスタマーオペレーションセンター 月曜～金曜　9時～ 17時（祝日、祭日は除く） **電子メール：** ＜お問合せ専用Webフォーム＞ マカフィー・テクニカルサポートセンター http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp マカフィー・カスタマーオペレーションセンター http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp **ホームページ：** http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
Spy Sweeper（90日期間限定版）	ウェブルート・ソフトウェア　カスタマーサポートセンター **電話番号：**（0570）055250 **受付時間：**月曜～日曜：10時～ 12時、13時～ 19時（年末年始を除く） **電子メール：**JPcustomer@webroot.com **ホームページ：**http://www.webroot.co.jp/

ソフトウェア	お問い合わせ先
i-フィルター 5.0(30日期間限定版)	デジタルアーツ株式会社　サポートセンター **電話番号：**月曜～金曜：(03)3580-5678 土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：(0570)00-1334 **受付時間：**月曜～金曜：10時～ 18時 土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：10時～ 20時 **電子メール：**p-support@daj.co.jp **ホームページ：** よくある質問：http://www.daj.jp/faq/ ユーザーサポートお問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/

ISP サインアップ

ソフトウェア	お問い合わせ先
So-netサービス紹介	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

ワープロ・表計算

ソフトウェア	お問い合わせ先
Microsoft(R) Office Personal 2010 2年間 ライセンス版 （86ページ）	お電話をおかけいただく前に、氏名、電話番号、プロダクトIDをご用意ください。 プロダクトIDの確認方法については、付属の「マイクロソフト オフィス パーソナル 2010 2年間ライセンス版 お使いになる前に」をご覧ください。 「Office Personal 2010 2年間ランセンス版」関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。 **無償サポートのご案内** 本製品のセットアップ、インストール、基本操作に関するお問い合わせは、下記のサポート受付窓口で承ります。 **電話番号：**（0120）54-2244 **受付時間：** 月曜日～金曜日：9時30分～ 12時、13時～ 19時 土曜日：10時～ 17時 （祝日、弊社指定休業日を除きます。弊社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記どおり受付を行い、翌日の振替休日が休業となります） * 音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。 本製品は、2年間の有効期限付きライセンスです。 本ソフトウェアは、ライセンス認証から2年間ご使用いただける製品です。 有効期限が切れた後は、機能制限モードでご使用いただくことができます。

実用ツール

ソフトウェア	お問い合わせ先
Adobe(R) Reader(R)	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
ATOK 2010 for Windows （30日期間限定版）	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
Evernote for VAIO	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

設定・ユーティリティー

ソフトウェア	お問い合わせ先
VAIO の設定	VAIOカスタマーリンク
VAIO Gate	VAIOカスタマーリンク
VAIO Smart Network	VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

ソフトウェア	お問い合わせ先
VAIO Care	VAIOカスタマーリンク
VAIO 電子マニュアル(PDF版)	VAIOカスタマーリンク
VAIO お引越サポート	VAIOカスタマーリンク
ノートン(TM) オンラインバックアップ(60日期間限定版)	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

その他

ソフトウェア	お問い合わせ先
VAIO オンラインカスタマー登録	http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

ソフトウェアをお使いになる前のご注意

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

ヒント

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。
付属のソフトウェアを確認するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］にポインターをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

！ご注意

- Windows 7は、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピューターの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

ソフトウェアの基本的な使いかた

VAIO Media plus

とりためたビデオ・写真・音楽などを、自宅のお好きな場所で
ホームネットワーク上のビデオ・写真・音楽などが簡単に探せます。
とりためたコンテンツが、自宅のお好きな場所、お好きな時間に楽しめます。

まるで一台のコンピューターのよう・・・・・・コレクションビュー
複数のコンピューターに保存されているコンテンツを種類ごとに整理して表示します。
1台のコンピューターを操作しているような感覚で、家じゅうのコンテンツが探せます。

キーワードで素早い検索
入力したキーワードに合うコンテンツを家じゅうの機器から検索して、素早く見つけることができます。

起動するには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Media plus]をクリックしてください。

「VAIO Media plus」の使いかたについて詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windows Media Player

音楽・動画再生ソフトウェアです。
音楽CDを手軽に再生するときなどに便利です。
また、インターネットを利用してストリーミング動画配信サービスを楽しむことにも適しています。

起動するには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]をクリックしてください。

「Windows Media Player」の使いかたについて詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

PMB VAIO Edition

手軽に写真やビデオを取りこみ、管理、活用

写真やビデオが簡単に取り込めて、手軽に素早く閲覧できます。
写真を補整してきれいにしたり、ショートムービーやオリジナルディスクを作成したりして、いろいろな方法で楽しく活用できます。

日付で手軽に閲覧

撮影した日付がわかるカレンダー表示で、手軽に閲覧できます。

サムネイルで素早く閲覧

動画の見たいシーンが一目でみつけられるサムネイル表示で、素早く閲覧できます。

活用して楽しむ

「VAIO クリエーション」で画像をきれいにすることや、ショートムービーやディスクの作成がかんたんにできます。

■ 写真をきれいに

うまく撮れなかった写真を補整してきれいにできます。

■ ムービー作成

本格的なムービー作品をかんたんに作れます。

■ ディスク作成*

素敵なデザインのオリジナルディスクを作成できます。

* お使いのモデルによっては、ディスク作成ができない場合があります。

起動するには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[PMB]をクリックしてください。

「PMB VAIO Edition」の使いかたについて詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

VAIO Update

「VAIO Update」は、VAIOを常に最新の状態にしておくためにサーバーと通信を行い、「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」などの更新情報をお知らせするサービスです。
VAIOの機能改善などに必要なアップデートプログラムをインターネット経由で自動的に判別し、不足しているプログラムを手軽にダウンロード／インストールすることができます。
定期的に更新情報を取得して、最新情報をバルーンでお知らせすることもできます。
また、「VAIO Update」が更新された場合は、自動でアップデートを実行します。

!ご注意

- 「VAIO Update」のバージョンが古くなると、「VAIO Update」のサービスをご利用できません。最新のバージョンにアップデートしてください。
- 「VAIO Update」をご利用いただくには、インターネットに接続する必要があります。
- ノート型のVAIOをお使いの場合は、更新中の電源遮断を防ぐため、ACアダプターを接続してください。ACアダプターを接続していないと、アップデートを実行できません。
- コンピューターの管理者（Administrator）権限のユーザーアカウントでWindowsにログオンしてください。
- アップデートは、VAIOにプリインストールされているオリジナルプログラムのみが対象です。
Windowsの更新には、Microsoft社が提供するWindows Updateをご利用ください。

起動するには

デスクトップ画面右下の通知領域にある （VAIO Updateアイコン）をダブルクリックしてください。

「VAIO Update」の使いかたについて詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Microsoft Office（Word ／ Excel）

Wordを起動するには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Microsoft Office］－［Microsoft Word 2010］をクリックしてください。

Excelを起動するには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Microsoft Office］－［Microsoft Excel 2010］をクリックしてください。

「Microsoft Office」の使いかたについて詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピューターに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピューターウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリーセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（90ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「バックアップするには」（91ページ）をご覧ください。
- **システム イメージのバックアップ**
  コンピューター全体のバックアップをすることができます。ハードディスクまたはSSDや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  システム イメージをバックアップするには、NTFSでフォーマットされた別売りの外付けハードディスクドライブが必要です。
  Windows 7 Ultimate ／ Professional搭載モデルをお使いの場合は、DVDメディア上にシステム イメージのバックアップを作成することもできます。
  システム イメージのバックアップの操作方法について詳しくは、「バックアップするには」（91ページ）をご覧ください。
- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（94ページ）をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。（108ページ）

！ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリーメディアを作成してください。本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリーメディアにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。（105ページ）
  リカバリーメディアの作成方法については、「リカバリーメディアを作成する」（88ページ）をご覧ください。

リカバリーメディアを作成する

リカバリーメディアについて

本機のハードディスクまたはSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリーには、リカバリーメディアを使用する場合があります。リカバリーメディアは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
なお、ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

！ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域の情報を書き替えてしまい、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリーセンター」を使用しないでハードディスクまたはSSDをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリーメディアによるリカバリーが必要となりますが、リカバリーメディアを作成していないと、リカバリーメディアを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリーメディアを作成することをおすすめします。

リカバリーメディアのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリーメディアを有償にてご提供するサービスを行っています。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

* ホームページからお申し込みいただくには「製品登録」が必要です。（157ページ）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリーメディアは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリーメディアを使うと、暗号化していないハードディスクまたはSSD上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクまたはSSDのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクまたはSSDの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリーメディアを作成するには

リカバリーメディアを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。
また、ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けDVDドライブなどを本機に接続してください。外付けドライブは、ACアダプターで電源に接続してご使用ください。

！ご注意

- ハードディスクまたはSSD上の空き容量が少ない場合は、リカバリーメディアを作成できません。
- Blu-ray Disc、DVD-RAM、CD-RまたはCD-RWはリカバリーメディア作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- お使いの機種によっては、お買い上げ直後の状態でも空き容量が足りないため、DVD+R DLおよびDVD-R DLでリカバリーメディアを作成できない場合があります。
- ディスクの記録面に触れたり、汚したりしないようにしてください。書き込みや読み取りエラーの原因になります。

ヒント

- リカバリーメディアを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
  VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO Update」(86ページ)をご覧ください。
  VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
- 本機をリカバリーした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリーメディアを作成してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリーセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリーディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント

画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリーメディアの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。(チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。)

5 [次へ]をクリックする。

ヒント

外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリーメディアの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- リカバリーメディアの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリーメディアの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

!ご注意

ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

すべてのリカバリーメディアを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリーメディアの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリーメディアの作成は終了です。

「バックアップと復元」を使う

「バックアップと復元」について

「バックアップと復元」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元」は次の手順で起動します。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリーセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元」画面が表示されます。

バックアップするには

初めてファイルやシステム イメージをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成する対象、スケジュールの設定などを行います。

ヒント

- システム イメージをバックアップすると、コンピューター全体のバックアップをすることができます。
  ハードディスクまたはSSDや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  - システム イメージをバックアップするには、NTFSでフォーマットされた別売りの外付けハードディスクドライブが必要です。外付けハードディスクをNTFSでフォーマットするには、エクスプローラー上で外付けハードディスクを右クリックして[フォーマット]を選択します。フォーマットすると、外付けハードディスク上のデータはすべて消去されます。
  - Windows 7 Ultimate ／ Professional搭載モデルをお使いの場合は、DVDメディア上にシステム イメージのバックアップを作成することもできます。DVDメディア上にシステム イメージをバックアップする場合は、「バックアップと復元」画面左側の[システム イメージの作成]をクリックし、画面の指示に従ってください。
- 下記の手順で、ファイルとシステム イメージのバックアップを同時に行うこともできます。

1 「バックアップと復元」を起動する。

2 [バックアップの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「バックアップの設定」画面が表示されます。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* お買い上げ時の設定が1つのパーティション(C:ドライブ)のみの場合は、C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(108ページ)
ただし、万一ハードディスクまたはSSDが故障した場合はデータが失われるので注意してください。

4 バックアップの対象画面で[自分で選択する]を選択し、[次へ]をクリックする。

[自動選択]を選択した場合は、手順6に進んでください。

5 バックアップしたいファイルの種類、またはバックアップ対象のドライブやフォルダーにチェックを付け、[次へ]をクリックする。

システム イメージをバックアップする場合は、[次のドライブのシステム イメージを含める]チェックボックスにチェックを付けてください。

6 バックアップのスケジュールを設定しない場合は、[設定の保存とバックアップの実行]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント

スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

7 バックアップが完了したら、「バックアップと復元」画面左側の[スケジュールを無効にする]をクリックする。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と対象の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元」画面で[今すぐバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意

- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからファイルを復元するには

バックアップデータを外付けハードディスクドライブに保存している場合は、ドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 「バックアップと復元」を起動する。

2 [ファイルの復元元として別のバックアップを選択]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 復元するバックアップデータが保存されているドライブを選択し、[次へ]をクリックする。

4 [検索]、[ファイルの参照]または[フォルダーの参照]をクリックし、復元するバックアップデータを選択する。

5 [次へ]をクリックする。

6 バックアップデータを復元する場所を選択し、[復元]をクリックする。

7 「ファイルの復元の完了」と表示されたら、[完了]をクリックする。

システム イメージを復元するには

！ご注意

システム イメージを復元する前に下記にご注意ください。

- 外付けドライブを使用してDVDメディア上にシステム イメージのバックアップを保存している場合は、外付けドライブを接続してください。（Windows 7 Ultimate ／ Professional搭載モデルのみ）
- 必要なファイルがある場合はバックアップしてください。

1 **本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。**

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

2 **矢印キーで「Windows 回復環境 (Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。**

3 **キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。**

4 **[以前に作成したシステム イメージを使用して、コンピューターを復元します。]を選択し、[次へ]をクリックする。**

「コンピューターイメージの再適用」画面が表示されます。
外付けハードディスクドライブを接続してください。
システム イメージのバックアップデータをDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 **[システム イメージを選択する]を選択し、[次へ]をクリックする。**

6 **システム イメージのバックアップデータを保存している場所を選択し、[次へ]をクリックする。**

7 **復元するシステム イメージのバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。**

8 **[ディスクをフォーマットしてパーティションに再分割する]を選択し、[次へ]をクリックする。**

9 **表示された内容を確認してから、[完了]をクリックする。**

10 **確認画面が表示されるので、復元を実行する場合は[はい]をクリックする。**

復元が完了すると自動的に再起動し、手順1の画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント

復元ポイントは、ソフトウェアのインストール時などに自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバーをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[システムとセキュリティ]をクリックする。

2 [システム]をクリックし、画面左側の[システムの保護]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

4 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

5 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[閉じる]をクリックする。

システムの復元ポイントから復元するには

!ご注意

著作権保護されている音楽データをお持ちの場合、大切なデータの消失を防ぐために、システムの復元を行う前にあらかじめ音楽データのバックアップを行ってください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ音楽データのすべてが再生できなくなる場合があります。
これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合、必ず専用のバックアップツールを使って音楽データをバックアップしてください。

❑ Windowsが起動する場合は

1 「バックアップと復元」を起動する。

2 [システム設定またはコンピューターの回復]をクリックする。

回復画面が表示されます。

3 [システムの復元を開く]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

ヒント
画面上に[推奨される復元]と[別の復元ポイントを選択する]の選択項目が表示された場合は、[別の復元ポイントを選択する]を選択し、[次へ]をクリックします。

4 [次へ]をクリックする。

5 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを数回繰り返し押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピューターの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。
④ 手順3に進む。

2 矢印キーで「Windows 回復環境(Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順5へ進んでください。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント
Windowsバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(105ページ)

5　[システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順4 ～ 7に従って操作してください。
再起動を促す画面が表示されたら、再起動を行ってください。

ソフトウェアやドライバーを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバーが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

!ご注意

- ソフトウェアやドライバーによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にあらかじめプログラムのアンインストールを行ってください。ソフトウェアやドライバーを正常に復元できない場合があります。（ (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックし、「プログラム」の[プログラムのアンインストール]をクリックして表示された画面でアンインストールしてください。）

1　(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリーセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

2　画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3　「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4　内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5　復元したいソフトウェアまたはドライバーのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリー(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピューターウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバーをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(98ページ)

手順1
リカバリーメディアを作成していない場合は、作成する。**(88ページ)**

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。**(91ページ)**

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。(94ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバーをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバーをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバーが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(96ページ)
- 以前にシステム イメージをバックアップしていた場合は、システム イメージを復元する。(93ページ)

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、「Windowsからリカバリーするには」(101ページ)の手順に従ってリカバリーする。

!ご注意
リカバリーすると、ハードディスクまたはSSD上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1
以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。(94ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にシステム イメージをバックアップしていた場合は、システム イメージを復元する。(93ページ)
  システム イメージをバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。
  最後にシステム イメージをバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。(105ページ)

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリーする必要があります。

手順2
データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。(105ページ)
本機の調子が悪くなる前にWindowsバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3
「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。
「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリーを行う前にハードウェア（CPU、メモリー、ハードディスクまたはSSD）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。

手順4
「Windowsが起動しない状態でリカバリーするには」（103ページ）の手順に従って、リカバリーする。

！ご注意
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合、CDやDVDを使用するには別売りの外付けドライブが必要となります。接続のしかたや使いかたについて詳しくは、外付けドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

リカバリーする

リカバリーとは

本機のハードディスクまたはSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリーメディアを使用しなくても、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーすることができます。

リカバリー領域とは

リカバリー領域とは、リカバリーを行うために必要なデータがおさめられているハードディスクまたはSSD内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリー領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたはSSDの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリー領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーできなくなる場合があります。
本機は、リカバリーメディアを使用してリカバリー領域を削除することができます。

リカバリーの種類

リカバリー方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリー」をおすすめします。

❑ C ドライブのリカバリー

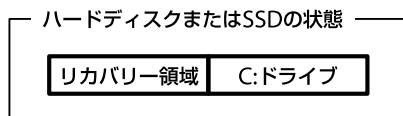
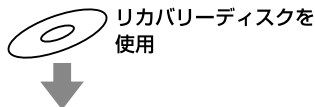
C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

C:ドライブのみデータが削除され、リカバリー領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリー

ハードディスクまたはSSD上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリー領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

ハードディスクまたはSSDの状態

リカバリー領域	C:ドライブ

ハードディスクまたはSSD上にあるすべてのデータが削除されます。

!ご注意

- リカバリーで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域を使ってリカバリーしたり、リカバリーメディアの作成が行えないことがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリーメディアを作成してください。(88ページ)

リカバリー前に確認してください

- 本機をリカバリーした場合、それ以前にハードディスクまたはSSD上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリーする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリーに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリーが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリー後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリー後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリーする際は、必ず最後までリカバリーを行ってください。リカバリーが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリーができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてリカバリーできなくなったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合やリカバリーメディアからリカバリーするには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ(音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データ)をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。

本機をリカバリーする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。

専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリーし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsからリカバリーするには

Windowsからリカバリーするには、以下の手順で操作します。

Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリーするには」(103ページ)をご覧ください。

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリーセンター]をクリックする。**

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリー]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント

- [お買い上げ時の状態にリカバリー]を選択すると、WindowsがインストールされているハードディスクまたはSSDのデータをすべて消去し、本機のハードディスクまたはSSDをお買い上げ時の状態に戻します。パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。
- お使いの機種によっては、[お買い上げ時の状態にリカバリー]を選択しても、C:ドライブ以外のドライブにデータが残る場合があります。
  C:ドライブ以外をお買い上げ時の状態に戻すには、「ディスクの管理」画面でフォーマットを行います。（(スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[システムとセキュリティ]－「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。）

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
警告画面が表示されます。

ヒント

- 管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。
- [お買い上げ時の状態にリカバリー]を選択した場合は、リカバリーメディアの作成を警告する画面が表示されます。リカバリーメディアを作成していない場合は、画面の指示に従って、事前にリカバリーメディアを作成してください。
  すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。
  その後、画面の指示に従ってパーティションの設定を行ってください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリー中」画面が表示され、リカバリー作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリー作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリーしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら[完了]をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

① 「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」のディスクをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピューターからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからファイルを復元するには」(92ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリーメディアを使ってリカバリーする
  リカバリー領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリーメディアを使ってリカバリーすることができます。ただし、リカバリー領域からリカバリーするよりも時間がかかります。
- リカバリー領域からリカバリーする
  ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーするため、リカバリーメディアを使うよりも速くリカバリーすることができます。

リカバリーメディアを使ってリカバリーするには

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けDVDドライブなどを本機に接続してください。外付けドライブは、ACアダプターで電源に接続してご使用ください。

1 本機の電源を入れる。

2 ドライブにリカバリーメディアを入れる。

3 外付けドライブをお使いの場合は、F11キーを数回繰り返し押す。

「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

4 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[C ドライブのリカバリー]または[お買い上げ時の状態にリカバリー]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント
- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(106ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリーを行う前にハードウェア(CPU、メモリー、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
- リカバリー領域を削除していない場合は、複数のリカバリーメディアのうち、一部を使用せずにリカバリーが完了することがあります。

Windowsのリカバリーが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

6 画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。

「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

① 「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」のディスクをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピューターからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
(107ページ)

リカバリー領域からリカバリーするには

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合は、以下の手順を行う前にあらかじめ別売りの外付けドライブを接続しておいてください。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。**

ブートオプション(Boot Options)を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリーメディアを使ったリカバリーの手順5からの操作と同様です。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
(107ページ)

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスクまたはSSD上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD / DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスクまたはSSD上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクまたはSSDの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー（バックアップ）するには

！ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の［VAIO データレスキューツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、［カスタムデータレスキュー］を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

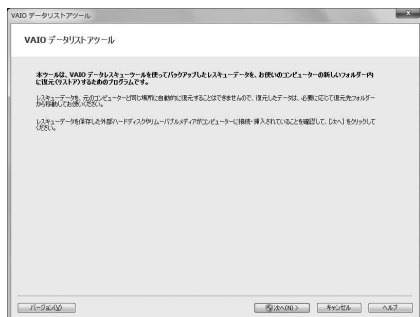
！ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、［中断した作業を再開する］チェックボックスにチェックを付けて、［次へ］をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSB接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO データリストアツール］をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、［次へ］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、［次へ］をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、［次へ］をクリックする。

ヒント
［内容の確認］をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダーやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダーを確認し、［次へ］をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して［次へ］をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、［開始］をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには［最初の画面に戻る］を、復元を終了するには［終了］をクリックする。

！ご注意
音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保証はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダーから移動してお使いください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとは、ハードディスクまたはSSD内の分割された領域のことです。1台のハードディスクまたはSSDの領域を複数に分割することで、ファイルやソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。*
別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。
本機はリカバリーを行わずに、Windows上からの操作で新しくパーティションを作成することができます。
パーティションの作成方法について詳しくは、「パーティションを作成する」(108ページ)をご覧ください。

* 機種によっては、お買い上げ時にD:ドライブなどが設定されている場合があります。

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリー時に作成する

!ご注意

- リカバリー時にパーティションを作成する場合は、ハードディスクまたはSSD上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、リカバリーメディアを使ってパーティションの作成を行うには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリーメディアの作成やリカバリーなどの操作が正常に行われない場合があります。

❑ Windows上の操作で作成する

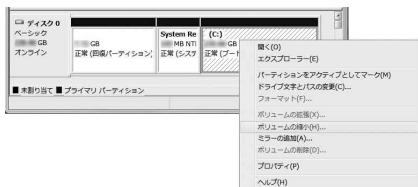
1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[システムとセキュリティ]－「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの縮小]をクリックする。

「C: の縮小」画面が表示されます。

3 縮小する領域のサイズを設定する。

C:ドライブのパーティションを縮小することで得られる空き領域を、新しく作成するパーティションに割り当てます。

- 縮小前の合計サイズ：
  現在のC:ドライブのサイズです。
- 縮小可能な領域のサイズ：
  C:ドライブのサイズのうち、縮小して新しいパーティションに割り当てることのできる最大サイズです。
- 縮小する領域のサイズ：
  新しく作成するパーティションのサイズを入力してください。ただし、「縮小可能な領域のサイズ」を超えることはできません。
- 縮小後の合計サイズ：
  縮小後のC:ドライブのサイズです。

ヒント

本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスクまたはSSD上のデータが分散しているため縮小可能な領域が小さくなります。
ただし、縮小可能な領域の最大サイズはシステムで決められているため、表示されているサイズよりC:ドライブをさらに小さく縮小することはできません。

4 [縮小]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

5 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

6 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリー時にパーティションを作成する

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「Windows ブート マネージャー」画面が表示されます。
リカバリーメディアを作成していない場合は、以下の手順で行うこともできます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の［お買い上げ時の状態にリカバリー］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

4 ［スキップ］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と表示された場合は、［パーティション設定を変更］を選んでください。

5 ドロップダウンリストから、［数値入力（C ドライブとD ドライブに分割する）］を選択する。

6 C:ドライブのサイズを設定して、［次へ］を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスク／SSDのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクまたはSSDのデータを完全に消去することができます。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

！ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスクまたはSSD上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリーメディアの作成が必要です。
  リカバリーメディアを作成していない場合は、リカバリーメディアを作成してください。
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピューターが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、Windowsバックアップを使ってバックアップしてください。
- Windowsが起動しない場合は、リカバリーメディアからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

3 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

4 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

5 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

6 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

7 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

8 データ消去するハードディスクを確認し[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックする。

[消去開始]ボタンが有効になります。

9 [消去開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

10 [はい]をクリックする。

ハードディスクまたはSSDのデータの消去が開始されます。

11 消去終了の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

本機の電源が切れます。

よくあるトラブルと解決方法

該当する問題がない場合は、「VAIOサポートページ」で本機についての最新Q&Aをご確認ください。

Q&A検索　http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/cb.html

VAIO本体

Q 「コンピューターの基本的な情報の表示」でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。

A 「コンピューターの基本的な情報の表示」にはCPUの情報が正確に反映されない場合がありますが、表示上の問題であり、本機のご使用に関して問題はありません。

Q 本機の型名がわからない。

A 型名は、保証書または本体キーボード右上のIDラベルに記載されています。

電源／起動／パスワード

Q 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯しないとき)

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリーが正しく装着されているか確認してください。

A 本機とACアダプター、ACアダプターと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。

A バッテリーの残量がまったく無い可能性があります。
バッテリーの充電については6ページをご覧ください。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラーが停止している可能性があります。
ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻(パワー)スイッチが効かない。(充電ランプがすばやく点滅している)

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻(パワー)スイッチが効かない場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
バッテリーを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。(28ページ)

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[保存する]などをクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]を選択して[OK]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows 7は、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバーによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「シャットダウンしています」などと表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の（シャットダウン）ボタンをクリックする。
- 本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにする。
- ACアダプターとバッテリーをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプターで使用するか、バッテリーを充電してください。（6ページ）

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。

システムに異常があります。本機の電源が切れたあと、バッテリーを取りはずし、純正の新しいバッテリーと交換してください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。

「Windowsが起動しない状態でリカバリーするには」(103ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

A 「Remove disks or other media. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合は、USB機器の接続状態について確認してください。

- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や自作のリカバリーメディアを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリーしてください。

A パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

なお、パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力してください。

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windows Error Recovery」と表示される場合、「Start Windows Normally」が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows Error Recovery」(黒い画面)が表示されます。
その場合は、「Start Windows Normally」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

A 「Windowsが起動しない場合」(98ページ)の手順に従って操作してください。

Q Windowsの起動が遅い(起動してから操作できるようになるまで時間がかかる)。

A ソフトウェアを追加すると、起動が遅くなる場合があります。
お客様ご自身で追加したソフトウェアがある場合は、そのソフトウェアをアンインストールして、問題が解決したか確認してください。
ソフトウェアの詳細については、ソフトウェアのお問い合わせ先へご連絡ください。

A 接続した周辺機器のドライバーを追加すると、起動が遅くなる場合があります。
お客様ご自身で追加したドライバーがある場合は、そのドライバーを削除してください。
接続した周辺機器・ドライバーについては、周辺機器のお問い合わせ先へご連絡ください。

A USBハブなどを接続していると、起動が遅くなる場合があります。
接続している場合は、そのUSBハブなどをはずしてください。

A バッテリーで起動していると、起動が遅くなる場合があります。
ACアダプターで使用してください。

A USB接続のドライブやプリンターなどを接続していると、起動が遅くなる場合があります。
Windowsが起動したあとで、USB機器を接続するかUSB機器の電源を入れてください。

A CDやDVDなどのディスクがドライブに入っていると、起動が遅くなる場合があります。
ドライブにディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してください。

A ネットワーク(LAN)に接続していると、起動が遅くなる場合があります。
ネットワーク(LAN)に接続していない状態で起動してください。

A それでも問題が解決しない場合は、「リカバリーする」(100ページ)の手順に従ってリカバリーを行ってください。
リカバリーを行ってハードディスクまたはSSDを初期化(フォーマット)することで、問題が解決したか確認してください。

Q ハードディスクまたはSSDから起動できない。

A USB機器の接続状態について確認してください。

- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q Windowsパスワードを設定、変更したい。または削除して、起動時にパスワードを入力しないようにしたい。

A 詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(54ページ)をご覧ください。

Q Windowsパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピューターの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリーする」(100ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q 休止状態に移行できない。

A プリンターユーティリティーなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。
それでも休止状態に移行できない場合は、次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。
「VAIO の設定」画面が表示されます。
② [電源・バッテリー]－[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。
③ [詳細設定]をクリックする。
「電源プランの選択」画面が表示されます。
④ 選択されている電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
「プラン設定の編集」画面が表示されます。
⑤ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。
⑥ 「スリープ」の「ハイブリッド スリープを許可する」が「オフ」になっているか確認する。
「オン」になっている場合は、「オフ」に変更して[OK]をクリックしてください。

Q バッテリー残量がわずかなのに、休止状態にならない。

A 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

Q スリープモードに移行できない。

A プリンターユーティリティーなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。
「3D テキスト」など、Windows標準のスクリーンセーバーに変更してください。

Q バッテリーで長時間使いたい。

A 本機をバッテリーで使用しているときに、バッテリーを長持ちさせる方法については、「バッテリーを上手に使うには」(7ページ)をご覧ください。

Q 充電ランプの表示について知りたい。

A バッテリーの動作状態により、充電ランプの表示が異なります。(6ページ)

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。（28ページ）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源で使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に一瞬ずらすと、元の状態に戻ります。
また、バッテリーで使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に一瞬ずらしてください。
使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。（10ページ）

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 動画が表示できない。

A Fnキーを押しながらF7キーを押して表示を選び、Enterキーを押して外部ディスプレイに切り替えたままの状態で外部ディスプレイの接続をはずすと、本機の画面で動画が表示できなくなる場合があります。
動画再生を停止してください。もう一度、Fnキーを押しながらF7キーを押して液晶ディスプレイの表示を選び、Enterキーを押して液晶ディスプレイに切り替えてから動画再生してください。

Q 動画が再生できない。

A 画面の解像度を下げてください。
本機に搭載されているビデオメモリーの容量によっては、高解像度で動画を再生できない場合があります。

Q 動画がスムーズに再生されない。

A AC電源に接続してください。

A 本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイの両方に表示している場合はどちらか片方のみに表示するようにしてください。

A Windows Aeroに設定している場合は、テーマを変更してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② 「デスクトップのカスタマイズ」の[テーマの変更]をクリックする。
③ 「ベーシック テーマとハイ コントラスト テーマ」の[Windows 7 ベーシック]をクリックする。

！ご注意
Windows 7 Starter搭載モデルをお使いの場合、テーマの変更はできません。

A 再生する動画の種類やビットレートによっては本機でスムーズに再生されない場合があります。

A プロセッサーの電源管理の設定を確認してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [システムとセキュリティ]－[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。
③ 選択している電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。
⑤ [詳細設定]タブの「プロセッサの電源管理」で「最大のプロセッサの状態」が100%になっているか確認する。
100%になっていない場合は、100%に変更してください。

A 動画再生中のウィンドウの上に別のウィンドウが重なると、フレーム落ちが発生し、動画がスムーズに再生できない場合があります。
ウィンドウが重ならないように、動画再生中のウィンドウの位置を移動するか、全画面表示にしてください。

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

（スタート）ボタン－［シャットダウン］をクリックして電源を切り、本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらして起動し直してください。

Q 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスク マネージャーの起動］をクリックする。
「Windows タスク マネージャー」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャー」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の（シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらして、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらして電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらして電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面の輝度（明るさ）を調節したい。

A Fnキーを押しながらF5キーまたはF6キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。（28ページ）

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

A （Windows）キーを押しながらDキーを2回押してください。

Q 画面にドット欠損(輝点・滅点)がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Q Windowsの文字サイズを大きくしたい。

A Windowsのフォントサイズの設定を変更することで、ディスプレイに表示される文字サイズを大きくすることができます。
次の手順で操作してください。
ただし、一部のソフトウェアや画面が正しく表示されない場合があります。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [デスクトップのカスタマイズ]または[デザイン]－[ディスプレイ]をクリックする。
③ 表示されるオプションからお好みの設定を選択し、[適用]をクリックする。
④ ログオフを促す画面が表示されたら、[今すぐログオフ]をクリックする。
再度ログオンすると、Windowsのフォントサイズが変更されます。
また、「ディスプレイ」画面左側の[カスタム テキスト サイズの設定(DPI)]をクリックすると、さらに詳しく文字サイズを設定することができます。

Q 一部の項目が画面に収まらず、表示されない文字や情報がある。

A Windowsのフォントサイズの設定を変更してください。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [デスクトップのカスタマイズ]または[デザイン]－[ディスプレイ]をクリックする。
③ 表示されるオプションからお好みの設定を選択し、[適用]をクリックする。
④ ログオフを促す画面が表示されたら、[今すぐログオフ]をクリックする。
再度ログオンすると、Windowsのフォントサイズが変更されます。

Q 外部ディスプレイのつなぎかたがわからない。

A 外部ディスプレイのつなぎかたについては、「外部ディスプレイやプロジェクターに表示するには」(21ページ)をご覧ください。

Q 外部ディスプレイに何も表示されない。

A Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。
詳しくは、「表示するディスプレイを選ぶ」(19ページ)をご覧ください。

Q 外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

A 外部ディスプレイ側で調整してください。
詳しくは、外部ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

A 外部ディスプレイやプロジェクターと本機の画面に同時に表示する場合は、画面表示の設定を変更してお使いください。(17ページ)

Q 本機の画面と外部ディスプレイに動画やDVDなどを同時に表示できない。

A 使用中のソフトウェアによっては、本機の画面と外部ディスプレイに動画やDVDなどを同時に表示することができない場合があります。

Q プロジェクターのつなぎかたがわからない。

A プロジェクターのつなぎかたについては、「外部ディスプレイやプロジェクターに表示するには」(21ページ)をご覧ください。

Q プロジェクターに何も表示されない。

A 本機の解像度を下げてください。(17ページ)

Q Windows Aeroで表示されていると動作が遅い。

A Windows Aeroが有効になっている場合、本機の動作が遅くなる場合があります。
操作をより快適にするために、Windows Aeroを無効に設定することをおすすめします。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② 「デスクトップのカスタマイズ」の[テーマの変更]をクリックする。
③ 「ベーシック テーマとハイ コントラスト テーマ」の[Windows 7 ベーシック]をクリックする。

!ご注意
Windows 7 Starter搭載モデルをお使いの場合、テーマの変更はできません。

音声

Q スピーカーやヘッドホンなどから音が出ない。

A 音量設定が最小になっていないか確認してください。
Fnキーを押しながらF4キーを長押しして、音量を上げる。（28ページ）

A Windowsの音量が消音または最小になっていないか確認してください。

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
③ 「サウンド」の［システム音量の調整］をクリックする。
「音量ミキサー」画面が表示されます。
④ 「デバイス」に表示されている設定が消音（ミュート）または最小になっていないか確認する。
消音（ ）になっている場合は （ミュート 解除）をクリックして消音解除（ ）にしてください。音量が最小になっている場合は音量を上げてください。

A 外部スピーカーやヘッドホンなどを接続している場合は、次の点を確認してください。

- 外部スピーカーやヘッドホンなどが本機と正しく接続されているか確認する。（24ページ）
- 外部スピーカーなどの電源ケーブルが電源コンセントにしっかり接続されているか確認する。
- 外部スピーカーなどの電源が入っているか確認する。
- 外部スピーカーなどの音量設定が最小になっていないか確認する。

A 本機の内蔵スピーカーから音を出す場合に（ヘッドホン）端子にケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずしてください。

A 出力先を確認してください。

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
③ ［サウンド］をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。
④ ［再生］タブをクリックする。
⑤ 音声を出力したいデバイスのアイコンの右下にチェックがついているか確認する。
チェックがついていない場合には、出力したいデバイスのアイコンを選択して［既定値に設定］をクリックしてください。
デバイスのアイコンが表示されていない場合は、本機とデバイスが正しく接続されているかもう一度ご確認ください。
⑥ ［OK］をクリックする。

A 使用するソフトウェアの再生音量を確認してください。

Q 映像や音声の再生時に音とびがする。

A コンピューターへの負荷が高くなっていると、再生音が途切れることがあります。
この場合は、コンピューターにかかる負荷が低くなるよう、その他のアプリケーションを終了するか、同時に使用するオーディオエフェクトの数を減らしてください。

A ソフトウェアによっては、出力音声のバッファーサイズを設定できることがあります。
このようなソフトウェアでは、出力音声のバッファーサイズを大きくすることで、この問題を解決できることがあります。

Q マイクが使えない。

A 録音デバイスとしてマイクが有効になっているか確認してください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。
④ [録音]タブをクリックする。
⑤ 使用したいマイクのアイコンの右下にチェックがついているか確認する。
チェックがついていない場合には、使用したいマイクのアイコンを選択して[既定値に設定]をクリックしてください。
マイクのアイコンが表示されていない場合は、本機とマイクが正しく接続されているかもう一度ご確認ください。
⑥ [OK]をクリックする。

A 外付けマイクから録音する場合には、プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。

Q マイクの音が大きい、または、小さい。

A 次の手順で音量を調節してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。
④ [録音]タブをクリックする。
⑤ マイクのアイコンをダブルクリックする。
「マイクのプロパティ」画面が表示されます。
⑥ [レベル]タブをクリックする。
⑦ 「マイク」のスライダーを左右に動かして好みの音量に調節する。
スライダーを最大にしても音量が足りないときは、「マイク ブースト」のスライダーを左右に動かして音量を調節することができます。
⑧ [OK]をクリックする。

ヒント
内蔵マイクが搭載されていない機種をお使いの場合、外付けマイクを接続しないとマイクのアイコンが表示されない場合があります。外付けマイクを接続してから調節してください。

Q マイクを使用しているときに、スピーカーなどの出力に雑音が入る。

A スピーカーなどから出力された音声がマイクに入力されることによって起きるハウリングによる雑音の可能性があります。

- スピーカーなど音声の出力元とマイクの距離を離してください。
- スピーカーの音量を下げてください。(22ページ)
- マイクの音量を下げてください。(23ページ)

Q モノラルマイクで録音すると片方のチャネルしか音声が録音されない。

A 次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。
④ [録音]タブをクリックする。
⑤ マイクのアイコンをダブルクリックする。
「マイクのプロパティ」画面が表示されます。

⑥ [音の明瞭化]タブ、[効果]タブ、または[拡張]タブをクリックする。

ヒント

お使いの機種により表示されるタブ名が異なります。

⑦ モノ マイク(Mono Microphone)のチェックボックスをクリックしてチェックする。

⑧ [OK]をクリックする。

!ご注意

この機能は、マイク録音時のみ有効です。

Q ステレオマイクを使用してもステレオ録音ができない。

A 次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン-[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。

④ [録音]タブをクリックする。

⑤ マイクのアイコンをダブルクリックする。
「マイクのプロパティ」画面が表示されます。

⑥ [音の明瞭化]タブ、[効果]タブ、または[拡張]タブをクリックする。

ヒント

お使いの機種により表示されるタブ名が異なります。

⑦ モノ マイク(Mono Microphone)のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

⑧ [OK]をクリックする。

Q Windowsの起動音を消したい。

A 次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン-[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。

③ [サウンド]をクリックする。
「サウンド」画面が表示されます。

④ [サウンド]タブをクリックする。

⑤ [Windows スタートアップのサウンドを再生する]のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

⑥ [OK]をクリックする。

文字入力／キーボード／タッチパッド

Q 入力できない記号や文字がある。

A 読みで入力してください。

読みが登録されている記号もあります。

＜例＞

→ ： やじるし

～ ： から

〒 ： ゆうびん

○ ： まる

★ ： ほし

A 「IME パッド」を使用して入力してください。

MS-IMEには、記号や文字を入力するための「IME パッド」があります。

言語バーの （IME パッド）をクリックして表示された画面左側から、「文字一覧」アイコンをクリックすると、記号を選んだり、読みかたのわからない漢字を手書きで入力したりできます。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。

Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。

点灯している場合は、Fnキーを押しながらNum Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

Q IMEの言語バーが表示されない。

A IMEの言語バーが表示されない場合は、次の手順に従って操作し、言語バーを表示させてください。

① （スタート）ボタン－［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② 「時計、言語、および地域」の［キーボードまたは入力方法の変更］をクリックする。
「地域と言語」画面が表示されます。

③ ［キーボードと言語］タブをクリックして、［キーボードの変更］をクリックする。
「テキストサービスと入力言語」画面が表示されます。

④ ［言語バー］タブをクリックする。

⑤ ［デスクトップ上でフロートして表示する］を選択して、［OK］をクリックする。

⑥ 「地域と言語」画面で［OK］をクリックして画面を閉じる。

ヒント

言語バー右上の （最小化ボタン）をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

Q 入力した文字が表示されない。

A 文字を入力したいソフトウェアの画面を前面に出してください。
画面のどこかをクリックするか、AltキーとTabキーを押して目的のソフトウェアを前面に出してください。

Q 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。

A タッピング機能をオフにしてください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
③ 「デバイスとプリンター」の［マウス］をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ ［デバイス設定］タブをクリックする。
⑤ ［設定］をクリックする。
「デバイス設定」画面が表示されます。
⑥ ［タップ］をクリックする。
⑦ ［タップ機能を使用する］をクリックしてチェックをはずす。
⑧ ［OK］をクリックする。
⑨ ［OK］をクリックする。

Q ショートカットキーの使いかたがわからない。

A Windowsキーと組み合わせたショートカットキーについては、「Windowsキーと組み合わせたショートカットキー一覧」をご覧ください。（27ページ）

A Fnキーと組み合わせたショートカットキーについては、「Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧」をご覧ください。（28ページ）

Q タッチパッドの使いかたがわからない。

A タッチパッドの使いかたについては、「タッチパッドの基本操作」（30ページ）をご覧ください。

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。（31ページ）
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。

Q 指がタッチパッドの端まできてしまいポインターを動かせない。

A 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻してください。

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。(32ページ)
それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッピング機能をオフにしてください。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ 「デバイスとプリンター」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ [デバイス設定]タブをクリックする。
⑤ [設定]をクリックする。
「デバイス設定」画面が表示されます。
⑥ [タップ]をクリックする。
⑦ [タップ機能を使用する]をクリックしてチェックをはずす。
⑧ [OK]をクリックする。
⑨ [OK]をクリックする。

Q ポインターが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインターが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインターを動かしてください。

それでもポインターが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の (パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (矢印)ボタン－[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の (パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。

ハードディスク／ SSD

Q 誤ってハードディスクまたはSSDを初期化してしまった。

A ハードディスクまたはSSDにあったファイルは、復元できません。
ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や、ご自分で作成したリカバリーメディアを使って、本機をリカバリーする必要があります。（100ページ）

Q ハードディスクまたはSSDの内容を誤って消してしまった。

A 削除したファイルが「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。
「ごみ箱」の中に削除したファイルが残っていないか確かめてください。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリーする必要があります。

Q ハードディスクまたはSSDから起動できない。

A USB機器の接続状態について確認してください。
- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q ハードディスクまたはSSDの空き容量を知りたい。

A （スタート）ボタン－［コンピューター］をクリックしてください。
「コンピューター」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクまたはSSDの空き容量が少なくなった。

A ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクまたはSSDの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。

次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク クリーンアップ]をクリックする。
「ドライブの選択」画面が表示された場合は、「ドライブ」でディスククリーンアップを実行するドライブを選択し、[OK]をクリックしてください。
「ディスク クリーンアップ」画面が表示されます。

② ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。

③ [OK]をクリックする。
「これらのファイルを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されます。

④ [ファイルの削除]をクリックする。
ディスクのクリーンアップが実行されます。

Q ハードディスクから異音がする。(ハードディスクドライブ搭載モデル)

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② 最適化するドライブを選択し、[ディスクの最適化]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
最適化(デフラグ)が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリー領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピューター]を右クリックして[管理]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

「コンピューターの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックする。

「ディスク 0」に、リカバリー領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント

1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

LAN ／無線LAN

！ご注意

お使いの機種により、無線LAN機能が搭載されていない場合があります。

Q ネットワーク（LAN）に接続できない。

A 接続状態を確認してください。（40ページ）

A 設定を確認してください。
ネットワークに接続するための設定について詳しくは、ADSLモデムや接続している周辺機器の取扱説明書を参照してください。職場などでは、職場のネットワーク管理担当者にご確認ください。

Q 無線LANが使えない。

A WIRELESSスイッチが「ON」になっているか確認してください。（44ページ）

A 本機に内蔵されている無線LAN機能を使うには、通信するための設定を行う必要があります。
無線LANの設定を確認してください。（44ページ）

A WLAN AutoConfigサービスが開始されているか確認してください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［システムとセキュリティ］をクリックする。

③ ［管理ツール］をクリックする。
「管理ツール」画面が表示されます。

④ ［サービス］をダブルクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
「サービス」画面が表示されます。

⑤ 「WLAN AutoConfig」の項目を確認する。
状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっている場合、WLAN AutoConfigサービスは開始されています。

ヒント

WLAN AutoConfigサービスが開始されていない場合、次の手順でサービスを開始してください。

① 「WLAN AutoConfig」を右クリックして［プロパティ］をクリックする。
「WLAN AutoConfig のプロパティ」画面が表示されます。

② スタートアップの種類を「自動」にし、［開始］をクリックする。

A 他社製の無線LAN製品に付属する接続ユーティリティーソフトウェアをインストールしている場合は、アンインストールしてください。
接続ユーティリティーソフトウェアをインストールしていると、Windowsの機能で無線LANの設定が正しく行われない可能性があります。

!ご注意

アンインストールを行う前に必ずセキュリティー キーなどの情報を控えてください。
接続ユーティリティーソフトウェアを使用して設定を行っていた場合、アンインストールすることで接続設定がすべて削除され接続できなくなる場合があるためご注意ください。

Q 無線LANアクセスポイントのSSIDやセキュリティー キーなどがわからない。

A 無線LANアクセスポイントを設定した方にご確認ください。

A 無線LANアクセスポイントの機種によっては、無線LAN接続設定を自動で行うものがあります。
自動接続設定を利用するには、無線LANアクセスポイントに付属のソフトウェアを本機にインストールする必要があります。
詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 無線LANアクセスポイントの設定画面で確認してください。
詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

Q 本機と無線LANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）。

A 上記の「無線LANが使えない。」の項目を確認してください。

A 無線LANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

A 無線LANアクセスポイントの設定を確認してください。
以下の場合はアクセスポイントに接続できなかったり、動作が不安定になることがあります。

- アクセスポイント側でANY接続拒否設定をしていて、本機側、またはアクセスポイント側でSSIDが「ANY」になっている場合
- アクセスポイント側でステルスモードに設定している場合

設定について詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書や、契約されているプロバイダーの設定方法のしおりなどをご覧ください。

A 本機と無線LANアクセスポイントが接続されているか確認してください。（44ページ）

A 通信機器間の通信可能な距離は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

A 「現在の接続先」画面に無線LANアクセスポイントが表示されているか確認してください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ネットワークとインターネット]をクリックする。
③ 「ネットワークと共有センター」の[ネットワークに接続]をクリックする。
「現在の接続先」画面が表示されます。
④ 無線LANアクセスポイントが表示されているか確認する。

A 入力したセキュリティー キーが間違っていることがあります。
セキュリティー上、1度設定したセキュリティー キーは「●」で表示され、確認することはできません。再度入力し直してください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ネットワークとインターネット]ー[ネットワークと共有センター]をクリックする。
③ 画面左側の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。
「ワイヤレス ネットワークの管理」画面が表示されます。
④ 「表示、修正、並べ替えが可能なネットワーク」のリストから確認したいものを選んで右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
プロパティー画面が表示されます。
⑤ [セキュリティ]タブをクリックする。
⑥ 「ネットワーク セキュリティ キー」を入力し直し、[OK]をクリックする。

A ワイヤレス機能の設定が、使用している無線LANアクセスポイントの無線LAN機能と同じ設定になっているか確認してください。（44ページ）
ワイヤレス機能の設定で2.4 GHz無線LANを無効にしている場合は、アクセスポイントに接続できません。
また、本機は5 GHz無線LANのアクセスポイントには接続できません。

A インターネットからのアクセスを制限する設定がされている場合は、通信できない場合があります。
お使いのセキュリティー対策ソフトウェアやWindowsのファイアウォール機能でアクセス制限をかけている場合、接続できないことがあります。設定を確認してください。

A ワイヤレスアダプターの設定を「最大パフォーマンス」に変更してください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [システムとセキュリティ]ー[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。
③ 選択している電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。
⑤ 「ワイヤレス アダプターの設定」で「省電力モード」を[最大パフォーマンス]に設定する。

Q 無線LAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。

A 本機の配置を変えたり、無線LAN製品に近づけたりして、電波の受信環境を変えてください。
無線LANの通信速度や通信状態は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材などの周辺の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

A 無線LANアクセスポイントへのアクセスが集中している可能性があります。
時間をおいてから、もう1度アクセスしてください。

A アクセスポイントのチャンネル設定を変更してください。帯域干渉による影響が無くなり、通信速度が改善する場合があります。
チャンネル帯域の干渉が起こると通信速度が低下することがあります。

A 他の無線LANアクセスポイントと混信している場合は、無線LANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をしてください。
設定について詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 電子レンジを近くで使用していないか確認してください。
2.4 GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。無線LANでの通信中に周囲で電子レンジを使用していると、場合によっては通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

A ワイヤレスアダプターの設定を「最大パフォーマンス」に変更してください。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [システムとセキュリティ]－[電源オプション]をクリックする。
「電源オプション」画面が表示されます。
③ 選択している電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
④ [詳細な電源設定の変更]をクリックする。
⑤ 「ワイヤレス アダプターの設定」で「省電力モード」を[最大パフォーマンス]に設定する。

Q ネットワーク上の他のコンピューターが表示されない。

A Windowsのネットワーク設定を確認してください。
ネットワーク設定について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

A 他のコンピューターがネットワークの中に存在しない場合は表示されません。

Q 内蔵無線LANの物理アドレス（MACアドレス）を確認したい。

A アクセスポイント側でMACアドレスフィルタリング設定を行っている場合、MACアドレスが登録されていないコンピューターは、アクセスポイントと通信できません。
次の手順でMACアドレスを確認して、アクセスポイントに登録してください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンド プロンプト］をクリックする。
「コマンド プロンプト」画面が表示されます。
② 「ipconfig /all」と入力し、Enterキーを押す。
③ 「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「物理アドレス」欄で、物理アドレス（MACアドレス）を確認する。

Q 無線LANの通信を終了したい。

A WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせます。

Bluetooth機能

Q Bluetooth機能が使えない。

A 本体のWIRELESSランプが点灯していることを確認してください。
WIRELESSランプが消灯している場合は、Bluetooth機能が使えません。
WIRELESSスイッチを「ON」にあわせてください。

Q Bluetooth機能で通信できない。

A 下記の「通信相手の機器が表示されない。」の項目を確認してください。

A 接続したい機器との認証を確認してください。
機器によっては、認証されていない機器間の接続を拒否するように設定されています。接続するには、接続する機器との認証が必要になります。

A 接続したい機器からの検出を、本機が許可しているか確認してください。
次の手順で操作してください。

① デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、表示されたメニューから［設定を開く］を選択する。
Bluetoothの設定画面が表示されます。

② 表示された画面で［オプション］タブをクリックして、［Bluetooth デバイスによる、このコンピューターの検出を許可する］チェックボックスにチェックが付いているか確認する。

Q デスクトップの通知領域にBluetoothのアイコンが表示されない。

A 「Bluetooth 設定」画面で設定を確認してください。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－［デバイスとプリンター］をクリックする。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

② コンピューターのアイコンを右クリックして表示されたメニューから［Bluetooth 設定］をクリックする。
「Bluetooth 設定」画面が表示されます。

③ 「Bluetooth アイコンを通知領域に表示する」にチェックをつけ、［OK］をクリックする。

Q 通信相手の機器が表示されない。

A 通信機器間の距離を10 m以内に近づけてください。
本機と通信相手の機器間の距離が10 m以上ある場合は通信できません。
本機と通信相手の機器間の距離が10 m以内でも、機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどによって、通信できない場合があります。本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離をさらに近づけてください。

A 通信先のBluetooth機能がオンになっているか、または通信先の機器が省電力動作モードになっていないか確認してください。

A 通信先のBluetooth対応機器が、Bluetooth機能を使用できる状態になっているか確認してください。
状態の確認方法について詳しくは、通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

A 通信相手が他の機器と接続している場合は、通信相手として表示されなかったり、本機と通信できない場合があります。

Q データ転送速度が遅い。

A 本機と通信相手の機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどによって、データ転送速度は変化します。
本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

A 1台のVAIOでBluetooth機能とワイヤレス機能を同時に使用すると、通信速度などに影響を及ぼす場合があります。

A 通信相手のBluetooth対応機器の仕様が「Version2.0+EDR」または「Version2.1+EDR」ではない場合、最大速度は721 kbpsになります。

Q Bluetooth機能を終了できない。

A WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
WIRELESSランプが消えても終了できない場合は、本機の電源を切ってください。本機の電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにして、電源を切ります。

Q 通信先のBluetooth対応機器が対応しているサービスで接続できない。

A 本機が対応しているサービスでのみ接続できます。
対応しているサービスについて詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」および通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q 制限付きユーザーアカウント(標準ユーザー)でBluetooth通信できない。

A 制限付きユーザーアカウント(標準ユーザー)でBluetooth通信を行うと、正常に動作しない場合があります。
その場合は、「コンピューターの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

Q ユーザーの切り替え先でBluetooth デバイスが使用できない。

A ログオフせずにユーザー切り替えを行った場合は、切り替え先のユーザーアカウントでBluetooth デバイスが正常に動作しない場合があります。
その場合は、ログオフしてからユーザー切り替えを行ってください。

Q 携帯電話やPDAと名刺データのやりとりができない。

A 本機は携帯電話やPDAとの間で名刺データを送受信する機能(vCard Exchange)に対応していません。

Q ヘッドセットやAVコントローラーから音声が出ない。

A SCMS-T設定を確認してください。
SCMS-Tに対応していないヘッドセットやAVコントローラーとA2DP プロファイルで接続する場合、設定の変更が必要になります。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[デバイスとプリンター]をクリックする。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

② A2DP プロファイルで接続する機器のアイコンを右クリックし、メニューから[コントロール]をクリックする。
接続する機器の操作と設定画面が表示されます。

③ [SCMS-T設定]をクリックし、「SCMS-T コンテンツ保護がサポートされている場合にのみデバイスに接続する」で[いいえ]をクリックする。

ヒント

一部の機種では通信相手の機器のSCMS-T対応を自動的に判別して接続するため、設定画面に「SCMS-T設定」が表示されない場合があります。その場合、設定の変更は必要ありません。

ソフトウェア一般

Q ソフトウェアの使いかたがわからない。

A 各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q ソフトウェアを終了した、または電源を切ったら、データが消えた。

A ソフトウェアを終了したり、電源を切ると、保存していないデータは消えてしまいます。
万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存(バックアップ)しておくようにしてください。

Q ソフトウェアやシステムの動作が遅い。

A 本機に周辺機器を接続している場合は、いったんそれらの機器を取りはずしてから動作を確認してください。

Q ソフトウェアのインストール方法がわからない。

A 本機に付属のソフトウェア以外をインストールする場合、そのインストール方法については、ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

Q 「Microsoft Office」(Excel / Outlook / Word他)が見つからない。

A 「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合は、お買い上げ時の状態では「Microsoft Office」がすでにインストールされています。
「Microsoft Office」をお使いになる場合は、次の手順で起動してください。

① (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[Microsoft Office]をクリックする。
Excel / Outlook / Word他が表示されます。

② ご使用になるソフトウェアをクリックする。

A 本機をリカバリーした場合は、付属のMicrosoft Office プレインストールパッケージを使用して「Microsoft Office」をインストールしてください。
インストールの手順について詳しくは、「Windowsからリカバリーするには」をご覧ください。(101ページ)

Q 「Microsoft Office」のライセンス認証のしかたがわからない。

A ライセンス認証の手順は、Microsoft Office プレインストールパッケージに付属の冊子に詳しく記載されていますので、そちらをご覧ください。
「Microsoft Office」をはじめて使うときや、本機のリカバリー後に「Microsoft Office」をインストールするときは、ライセンス認証を実行する必要があります。

Q AVCHD方式のデジタルビデオ機器によって記録されたハイビジョン画質の素材などのファイルを再生すると、コマ落ちや音飛びが発生する。

A ハイビジョン画質の素材などのビデオファイル再生（デコード）にはCPU、GPU、システムメモリーなど非常に多くのハードウェア資源を要求します。このため、素材によっては、操作および機能に制限があったり、音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。
また、素材によっては、再生そのものに不具合のあるものも確認されています。

USB ／プリンター／フロッピーディスク

Q プリンターで印刷できない。

A プリンターが正しく設定されているか確認してください。
プリンターの設定について詳しくは、プリンターに付属の取扱説明書をご覧ください。

A プリンターの電源が入っているか確認してください。
詳しくは、プリンターに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 本機とプリンター、ACアダプターと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれ正しく接続されているか確認してください。

A プリンター専用のプリンタードライバーがインストールされているか確認してください。
新しくプリンターを接続したときは、プリンタードライバーのセットアップが必要です。
プリンタードライバーのセットアップ方法については、プリンターに付属の取扱説明書、またはプリンターの製造元のホームページをご覧ください。

A 使用したいプリンターが「通常使うプリンター」に設定されているか確認してください。
次の手順で設定を変更してください。

① （スタート）ボタン－［コントロールパネル］をクリックする。
② ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
③ ［デバイスとプリンター］をクリックする。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。
④ 使用したいプリンターにチェックがついているか確認する。
チェックがついていない場合は、使用したいプリンターのアイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］をクリックしてください。

A プリンターのテスト印字ができるか確認してください。
プリンターには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンターの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンターの故障が考えられます。プリンターの製造元にお問い合わせください。

A プリンターの製造元が推奨するプリンターケーブルを使っているか確認してください。
プリンターによっては、プリンター製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンターに付属の取扱説明書をご覧になってケーブルを確認してください。

A Windows 7対応でないプリンタードライバーではお使いになれません。
プリンターの製造元からWindows 7に対応したドライバーを入手してお使いいただくか、プリンターの製造元へお問い合わせください。

A プリンターがネットワーク(LAN)に接続されているか確認してください。
プリンターがネットワーク(LAN)に直接接続されている場合は、ルーターやハブなどの電源が入っているか確認してください。
プリンターがプリンターサーバーに接続されている場合は、プリンターサーバーにエラーが表示されていないか確認してください。

A ソフトウェアに問題がないか確認してください。
データによっては、ソフトウェアに問題があって、正しく印刷できないものがあります。
ソフトウェアやプリンターの製造元にお問い合わせください。

A 印刷先のプリンターポートが正しく設定されているか確認してください。
プリンターポートの設定について詳しくは、プリンターに付属の取扱説明書をご覧いただくか、プリンターの製造元にお問い合わせください。

A プリンターが双方向通信機能を持つ場合は、双方向通信機能をオフにすると印刷可能になる場合があります。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン-[コントロールパネル]をクリックする。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ [デバイスとプリンター]をクリックする。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。
④ 印刷したいプリンターを右クリックして、[プリンターのプロパティ]を選ぶ。
⑤ [ポート]タブをクリックする。
⑥ [双方向サポートを有効にする]のチェックボックスをクリックし、チェックをはずす。
⑦ [OK]をクリックする。

!ご注意

プリンターからデータ転送、ステータスモニター、リモートパネルなどの双方向通信を利用した機能がご利用になれなくなります。

Q プリンターで印刷できない。(今までできていたのにできなくなった場合)

A プリンターが用紙切れ、トナー切れ、インク切れになっていないか確認してください。
プリンターに付属の取扱説明書に従って用紙やトナー、インクを補充してください。

A プリンターが印刷可能な状態(オンライン)になっているか確認してください。
プリンターに「印刷可(オンライン)」や「準備完了」と表示されていることを確認してください。また、プリンターに付属の取扱説明書に従って正しく設定されているか確認してください。

A ソフトウェアに問題がないか確認してください。
データによっては、ソフトウェアに問題があって、正しく印刷できないものがあります。
ソフトウェアやプリンターの製造元にお問い合わせください。

Q プリンターの設定方法や印刷方法がわからない。

A プリンターの設定方法や印刷方法については、プリンターに付属の取扱説明書、またはプリンターの製造元のホームページをご覧ください。

Q フロッピーディスクから起動できない。

A 本機の電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを繰り返し押してください。

Q フロッピーディスクが取り出せない。

A 使用中のフロッピーディスクのファイルを閉じ、USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯していないことを確認してから取り出します。

Q フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。

A フロッピーディスクが書き込み禁止になっている可能性があります。
タブを動かして書き込み可能にしてください。
フロッピーディスクは、穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

A 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがきちんと入っているか確認してください。
フロッピーディスクは、ディスクの上下を確認してから入れてください。

A 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面に表示されています。
フロッピーディスクの内容が画面表示されているときは初期化できませんので、画面を閉じてください。

Q フロッピーディスクにアクセスできない。

A お使いになるフロッピーディスクのフォーマットなどを確認してください。

Q フロッピーディスクを認識しない。

A 本機とUSBフロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。

A フロッピーディスクを本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブからいったん取り出し、入れ直してみてください。

Q フロッピーディスクにデータを保存できない。

A 「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクの容量の空きがありません。
容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直してください。

A 「書き込み禁止」というメッセージが表示されたときは、タブを動かして書き込み可能にしてください。
フロッピーディスクは、穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

“メモリースティック”

Q 「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

A “メモリースティック”が書き込み禁止になっています。
誤消去防止スイッチを動かして書き込み可能にしてください。

Q “メモリースティック”のフォーマットをしたい。

A 「“メモリースティック”を初期化するには(フォーマット)」(37ページ)をご覧ください。

Q “メモリースティック”の使いかたがわからない。

A 使いかたについては、「“メモリースティック”を入れる/取り出す」(35ページ)をご覧ください。
“メモリースティック”について詳しくは、「“メモリースティック”とは」(34ページ)をご覧ください。

Q “メモリースティック”にデータを保存したい。

A データの保存方法については、「“メモリースティック”にデータを保存する」(36ページ)をご覧ください。

Q 「コンピューター」画面に“メモリースティック デュオ” スロットのドライブが表示されない。

A “メモリースティック デュオ”を挿入していないときは表示されません。

その他のメモリーカード

Q SDメモリーカードに書き込みができない。

A SDメモリーカードのプロテクトスイッチがロックされていないか確認してください。
プロテクトスイッチがロックされていると、データの書き込みや消去ができません。

Q 「コンピューター」画面にSDメモリーカードスロットのドライブが表示されない。

A SDメモリーカードを挿入していないときは表示されません。

インターネット接続

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダーとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダーと契約する必要があります。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダーにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダーから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。

Q ADSLでインターネットに接続できない。

A 接続状態を確認してください。

- ケーブル類が正しく接続されているか確認する。
  プロバイダーから入手した取扱説明書をご覧になり、ケーブルの種類や接続する端子の位置を確認してください。ケーブル類は「カチッ」と音がするまで端子に差し込んでください。また、予備のケーブルがあれば、ケーブルを交換して試してください。
- ADSLモデムやスプリッターが正しく動作しているか確認する。
  確認方法については、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ADSLモデムの電源を切り、しばらくしてから入れ直す。

それでも接続できない場合は、ADSLのリンクが切れている可能性がありますのでADSL接続業者にお問い合わせください。

A ADSLモデムの設定を確認してください。
ADSLモデムの設定については、プロバイダーから入手した説明書をご覧ください。

Q ADSL接続のLAN端子の接続方法がわからない。

A 本機のLAN端子にネットワーク(LAN)ケーブルを接続してください。(40ページ)
ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

Q 携帯電話を使ってインターネットに接続できない。

A 携帯電話や接続アダプターの設定を確認してください。
お使いの携帯電話や接続アダプターに付属の取扱説明書をご覧になり、設定を確認してください。

A 次の手順で、所在地情報を確認してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② 「表示方法」のリストから[大きいアイコン]または[小さいアイコン]を選択する。
③ [電話とモデム]をクリックする。
「所在地情報」画面が表示されます。
④ 「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」など実在しない番号を入力する。

ホームページ

Q 接続するが通信速度が遅い。

A 回線が込み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

Q ADSL接続中に突然つながらなくなった。

A いったんADSLモデムの電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してください。
ADSLモデムの長時間利用などが原因で接続できなくなる場合があります。詳しくは、ADSLモデムに付属の取扱説明書をご覧ください。

Q ホームページを見ることができない。

A Webブラウザーの設定を確認してください。
プロバイダーによっては、Webブラウザーの設定が必要な場合があります。契約したプロバイダーから送られてくる資料などをご覧になり、設定を確認してください。

A 見たいホームページのURLを確認してください。
アドレスバーに表示されているURLが正しく入力されているか確認します。URLは半角英数字で入力してください。

Q ホームページが文字化けしている。

A 正しい表示文字コードを選んでください。
次の手順で操作してください。

① 「Internet Explorer」を起動後、画面上部の[ページ]をクリックする。
② 表示されるメニューの[エンコード]にポインターをあわせたあと、[自動選択]のチェックをはずす。
③ 再び、画面上部の[ページ]をクリックし、表示されるメニューの[エンコード]にポインターをあわせたあと、[日本語(自動選択)]、[その他]－[日本語(シフトJIS)]、[その他]－[日本語(EUC)]のそれぞれをクリックして試す。

!ご注意

ホームページによっては、文字化けが直らないことがあります。

Q ホームページの文字サイズを大きくしたい。

A 文字サイズを変更してください。
次の手順で操作してください。
① 「Internet Explorer」を起動後、画面上部の[ページ]をクリックする。
② 表示されるメニューの[文字のサイズ]にポインターをあわせ、[大]または[最大]をクリックする。

A Fnキーを押しながらF10キーを押して、文字を大きくしてください。

「製品登録」

Q オンラインで製品を登録できない。

A 製品を登録するときは、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

A インターネットへの接続が正しく行われているかどうかご確認ください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」を見る

基本的な使いかたやよくあるトラブルの解決方法などが記載されています。
「VAIO 電子マニュアル(PDF版)」は、インターネット経由でダウンロードすることができます。
「VAIO 電子マニュアル」を起動するには、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリックします。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアの詳しい使いかたを知りたいときは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ヘルプでは、デスクトップ画面上で問題の解決方法についての情報を検索して、表示することができます。

製品を登録する

製品の登録について

ソニーでは、「VAIO」をご所有のお客様に製品の登録をお願いしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、より充実したご登録者限定のサービス・サポートをご利用いただけます。

「製品登録」の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供

② 「製品登録」されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供

* 各サービス・サポートについて詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（178ページ）をご覧ください。

- **使い方相談サポート（電話・メール）のご利用1年間無料**
  VAIOご購入日から1年間、使いかたや技術的なお問い合わせのサポート（電話・メール）を無料でご利用いただけます。
- **使い方相談窓口のフリーダイヤル**
  VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービスのご利用1年間無料**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。
- **VAIOリモートサービスのご利用1年間無料**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら操作方法などをご案内します。
- **メールサポートのご利用1年間無料**
  使いかたや技術的な質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でVAIOに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

③ 特典情報やキャンペーンなど、VAIOに関するさまざまな情報を提供

詳しくは、「VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」」（177ページ）をご覧ください。

！ご注意

「製品登録」の特典などは、2010年3月時点での情報（予定を含む）です。内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

ヒント
- 「製品登録」に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（159ページ）までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなウェブサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

製品を登録する際の個人情報取り扱いについて

ソニーでは、製品の登録時にご提供いただくお客様の個人情報について、適切な取り扱いに取り組んでおります。個人情報の取り扱いについて詳しくは、下記をご参照ください。
http://www.sony.jp/CorporateCruise/privacy/

製品を登録するには

！ご注意
- ご登録いただくVAIOをインターネットに接続してから、製品の登録を行ってください。
- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピューターの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- 製品の登録を行っていただいてから、登録完了までに1 ～ 2時間程度お時間がかかります。ご了承ください。
- 製品の登録は、本機のリカバリーをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。
- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、メールアドレスが必要です。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO オンラインカスタマー登録］をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

！ご注意
機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。
この場合は「My VAIO」（http://sony.jp/vaio/myvaio/）の「My VAIO メニュー」から「製品の登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、［ご登録ページへ］をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント
製品の登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示されたIDは、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- 製品を登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。
- ご登録いただいた電話番号は、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」をご利用の際に必要となる場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

製品の登録に関するお問い合わせ先

カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：　平日　9時～ 20時
土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
（年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。）

！ご注意

- VAIOの使いかたについては、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」までお問い合わせください。
詳しくは「電話で問い合わせる」（165ページ）をご覧ください。
- VAIOの修理については、VAIOカスタマーリンク「修理相談窓口」までお問い合わせください。
詳しくは「修理を依頼されるときは」（171ページ）をご覧ください。

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。セキュリティーの最新情報やアップデートプログラムなど、VAIOを快適に使うための情報も提供しています。

！ご注意
VAIOサポートページの構成やデザインなどの内容は、2010年3月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは161ページ～ 164ページをご覧ください。

VAIOサポートページを見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」を起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［1 トップページ（トラブル解決・使い方情報）］をクリックして表示します。

＜製品別サポート情報＞

お知らせやアップデートプログラムなどを掲載しているページです。お客様がお持ちのVAIOに関する情報のみに絞り込んで閲覧することができます。

ヒント

VAIOサポートページ内の［自動ジャンプ］ボタンや［ご利用中のVAIOの情報を自動表示］ボタンを押すと、製品別サポート情報にワンクリックでアクセスできます。

＜よくある質問＞

画面について、キーボードについて、テレビ視聴について、特定のソフトウェアについてなど、カテゴリー別にまとめています。

＜Q&A検索＞

トラブルの解決方法をキーワードで検索して調べることができます。

ヒント

うまく検索できない場合は、入力するキーワードを別の言葉に置き換えて再度お試しください。また、検索画面に書かれている注意点をご確認ください。

＜活用ガイド＞

VAIOならではの活用方法やオリジナルソフトウェアの操作方法、お役立ち情報などをご紹介しています。

＜各種サービス＞

VAIOをさらに役立てる、便利に使うためのサービスや、設置設定、点検サービスなどをご案内しています。有料のサービスにつきましては、詳しくは「各種有料サービスのご案内」（178ページ）をご覧ください。

※一部のサービスでは、「製品登録」を行ったMy Sony IDが必要です。

＜初心者コーナー＞

初心者・初級者の方が知りたい情報をイラストを交え、わかりやすくご紹介しています。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートページ）

最新のサポート情報を携帯電話からご覧いただけます。VAIO本体からVAIOサポートページを閲覧できないときや、ソニーでお預かりしているVAIOの修理状況を確認したいときなどにご利用ください。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
  詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（174ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Streetモバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザーの情報交換サイト）

VAIOをお持ちのお客様同士で、さまざまな活用情報を交換できるサイトです。
わからないことを質問しあったり、VAIOに関する意見や情報を投稿することができます。
自分は投稿せずに閲覧するだけという使いかたもできます。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、「製品登録」を行っていただいた際に発行するMy Sony IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」を起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［6 VAIO Hot Street（情報投稿サイト）］をクリックして表示することもできます。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。

人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、VAIOに関する技術的なお問い合わせを電話で承っております。

「使い方相談窓口」のご利用について

「使い方相談窓口」は、VAIOをご購入された日から1年間は無料でご利用いただけます(「製品登録」が必要)。2年目以降のお客様によるご利用は有料です。

❏ 無料と有料の区分

VAIOご購入日から1年間	無料 (「製品登録」が必要)
VAIOご購入日から 2年目以降	有料 (1案件:2,100円)

❏ お支払方法

クレジットカードでのお支払いとなります。ご利用可能なカード会社は、VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/ダイナースです。

❏ VAIOサポートチケット(3回チケット)

3案件分のサポートをお得な料金でご利用いただける、3回チケットもご用意しています。詳しくはオペレーターにご相談ください。

3回チケット:5,250円(税込)

※チケットの有効期限は、チケットの購入日から1年間です。

※VAIOサポートチケットは電子チケットです。紙のチケットがお手元に届くわけではありません。あらかじめご了承ください。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

VAIOサポートページ「電話で問い合わせ」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

!ご注意

- 「使い方相談窓口」をご利用いただく前に、VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」をお読みください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html
- 音声ガイダンスの操作手順に従ってクレジットカード情報をご入力いただく場合があります。ただし、ご入力いただいた時点では課金されません。
  お問い合わせが有料となる場合は、課金の前にオペレーターよりご案内いたします。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOサポートページで、VAIOの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。

詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(156ページ)、「VAIOサポートページで調べる」(160ページ)をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、VAIOサポートページの「付属ソフトウェアに関するお問い合わせ」をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html

本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ 「製品登録」をご確認ください

「製品登録」がお済みのお客様に、VAIOご購入日から1年間は、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートを無料でご提供しております。また、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。

製品を登録する際にご登録いただいた電話番号で、発信者番号通知にてお電話をいただくと、自動的にご登録を確認できます。

非通知設定でおかけいただく場合などは、音声ガイダンスに従って、ご登録の電話番号の入力をお願いいたします。

製品の登録について、詳しくは取扱説明書の「製品を登録する」をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください(② ～ ④は該当する場合のみ)

① 本機の型名(保証書または、本機キーボード右上のIDラベルに記載されています。)

② 本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)

③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ

④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。

また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：（0120）36-3838（フリーダイヤル）

（サンロク　サンハチサンハチ）

※「製品登録」がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）32-8912（通話料お客様負担）

受付時間　平日：9時～18時　土曜、日曜、祝日：9時～17時
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。**
- **「製品登録」がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

製品の登録に関するお問い合わせ先

カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）

（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：　平日　9時～20時
土曜、日曜、祝日　9時～17時
（年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。）

!ご注意

- VAIOの使いかたについては、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」までお問い合わせください。
- VAIOの修理については、「修理相談窓口」までお問い合わせください。詳しくは「修理を依頼されるときは」（171ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（使い方相談窓口）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

電話受付の混雑状況を、VAIOサポートページで公開しています。

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/callback.html

ご希望の日時に、VAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様へお電話を差し上げるサービスです。日時の予約はインターネットで受け付けております。

予約受付：VAIOサポートページからご予約可能

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

① VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「コールバック予約サービス」のリンクをクリックする。

！ご注意

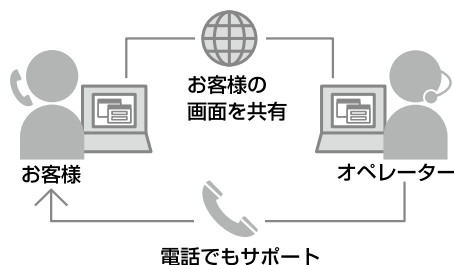
- 本サービスのご利用には、「製品登録」が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日から1年間、本サービスを無料でご利用いただけます。詳しくは「使いかたに関するお問い合わせ」（165ページ）をご覧ください。
- 本サービスは、VAIO本体やVAIOアクセサリーの使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（160ページ）をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/remote.html

オペレーターがインターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。
「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」というかたは、ぜひお試しください。

!ご注意
本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。なお、お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

① VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「VAIOリモートサービス」のリンクをクリックする。

ヒント
VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（160ページ）をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる

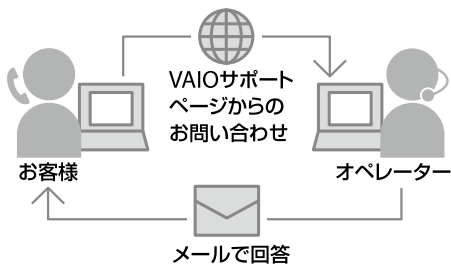
（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/mail/）

VAIOサポートページで質問を受け付け、電子メールで回答を差し上げるサービスです（VAIOの使いかたなど技術的な質問に限ります）。

本サービスのご利用には、「製品登録」が必要です。

VAIOご購入日から1年間は、無料でご利用いただけます。2年目以降のお客様には、「VAIOサポートチケット（有料）」をご購入いただくことで、本サービスをご利用いただけます。

「VAIOサポートチケット」について詳しくは、「電話で問い合わせる」の「VAIOサポートチケット」（165ページ）をご確認ください。

※なお、当面の間、VAIOご購入日から2年目以降のお客様にも本サービスを無料でご利用いただけます。無料でご利用可能な期間の終了につきましては、後日、VAIOサポートページなどでお知らせいたします。

！ご注意

- 本サービスをご利用の際、該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日とは、VAIO本体に付属の保証書に記載されている「お買上げ日」となります。製品を登録する際にご入力ください。
- サポート対象製品は、VAIO本体、VAIO本体に付属のOSおよびソニー製ソフトウェア、一部のVAIOアクセサリーです。

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「メールで問い合わせる」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（160ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、VAIOに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。

なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意

一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（156ページ）、「VAIOサポートページで調べる」（160ページ）をご覧ください。
- VAIO Updateを利用して、お使いのVAIOが最新の状態かご確認ください。VAIOをアップデート（最新状態に）することにより、お客様のお困りの症状を解決できることがあります。

ヒント

VAIOサポートページの「故障とお考えの前に」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html）でも、故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/download/karte/）またはFAX情報サービス（170ページ）より入手できます。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理相談窓口　電話番号 0120-60-5599（フリーダイヤル）

お電話いただく前にお読みください

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様に返却しておりませんので、あらかじめご了承ください。

ヒント

VAIOサポートページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」(87ページ)をご覧ください。

!ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 修理料金の目安(VAIOサポートページ)

製品別、症状や故障個所別に、修理料金の目安を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/price.html

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(修理ご相談)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/

修理相談窓口の混雑状況をVAIOサポートページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のために操作をお願いする場合があります。ご使用のVAIOをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

❑ 海外での修理について

お買い求めいただいたVAIOは、VAIO International Repair Service(VAIO国際修理サービス)の対象機種です。

VAIOのご購入日から1年間は、海外の本サービス対象国および地域においても、保証規定にのっとり、無償で修理を行います。サービス内容やご利用方法など詳しくは、本機に付属の冊子「VAIO International Repair Service(VAIO国際修理サービス)のご案内」をご覧ください。

修理を申し込む

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2010年3月現在）

法人向け修理相談窓口のご案内

「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」（法人のお客様専用）

電話番号：（0120）30-6065（フリーダイヤル）

（サンゼロ　ロクゼロロクゴー）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3035（通話料お客様負担）

受付時間：平日：10時～ 18時（土日祝日休み）

① 修理窓口に電話をかける

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

!ご注意

- 上記は2010年3月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業、修理後のお届けは、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」(174ページ)をご覧ください。

お届け／お支払い(有料の場合のみ)

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い(有料のみ)

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望されたかたは、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOサポートページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOサポートページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/index_2.html

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

① VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「修理のご相談」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「お預かり後の確認」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（160ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートページ）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

！ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
  なお、修理内容に応じて弊社が必要と判断した場合には、お電話にてご連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jp および @jp.sony.comからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。

- URLからアクセス
  https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス
  （バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力する。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(171ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/
VAIO関連情報はもちろん、ウェブ検索、ニュース、天気予報といった毎日ご利用いただける便利な機能も満載です。
ぜひご活用ください。

!ご注意
2010年3月現在の情報になります。

（2010年3月現在）

❑ 便利な検索機能

Yahoo! JAPAN、Google、gooから選んで使うことができる「ウェブ」検索をはじめ、出発駅、到着駅を入れると簡単に電車のルートが調べられる「路線」検索など、便利な検索機能が満載です。

❑ My VAIO recommends

ソニーの各種ホームページの中から、My VAIOがおすすめするコンテンツを紹介します。コンテンツは定期的に更新されます。

❑ オトクにネットショッピング

ログインをしてお買い物をすると、通常のお店のポイントに加え、ソニーポイントも貯まります。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはVAIOオーナー向けサイトMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意

2010年3月現在の情報になります。

❑ VAIO設置設定サービス

http://sony.jp/vaio/setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

ソニーデジホームサポートデスク
電話番号
（0570）073-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4569（PHS・IP電話）
受付時間
月～金：10：00 ～ 18：00
土日祝：10：00 ～ 17：00
（※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

❑ セミナー・個人レッスン

http://sony.jp/vaio/lesson/

セミナー

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局
電話番号
（0570）075-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4568（PHS・IP電話）
受付時間
月～金：10：00 ～ 18：00
土日祝：10：00 ～ 17：00
（※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。
お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、ソニーデジホームサポートデスクまでお問い合わせください。ソニーデジホームサポートについて詳しくは、「VAIO設置設定サービス」（178ページ）をご覧ください。

❑ 部品提供サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/parts/

VAIOをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）
  （部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

本サービスのご利用には、「製品登録」が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://sony.jp/vaio/customize/

VAIO本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。

1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。

メモリーやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/updatedisc/

ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートディスクを有料で送付するサービスです。

！ご注意

- ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。
- 本サービスのご利用には、「製品登録」が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ リカバリーメディア送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

VAIOを再セットアップするときに必要なディスクを有料で送付するサービスです。

ご提供するリカバリーメディアは、VAIOにプリインストールされている「リカバリー作成ツール」からお客様ご自身で作成することができるディスクと同等のものです。

！ご注意

本サービスのご利用には、「製品登録」が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/onsite/

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお応えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型VAIOのみ）

ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行います。

技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。

サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にVAIOサポートページをご確認ください。

❑ 点検サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/inspection/

ご所有のVAIOをソニーでお預かりし、製品の出荷時に行う各種機能検査と同等の検査や、内部クリーニングを施してご返却する、有償のサービスです。

各部の名称

本機に搭載されている端子やスイッチなどについては、下記の一覧でご確認ください。

各部の名称とマーク一覧

マーク	名称
MOTION EYE	内蔵カメラ（MOTION EYE）
WIRELESS	WIRELESSスイッチ
	“メモリースティック デュオ”スロット（35ページ）
SD	SDメモリーカードスロット（39ページ）
⏻	⏻（パワー）スイッチ
	（USB）端子
	LAN 端子（40ページ）
	（モニター）端子（21ページ）
	（マイク）端子（25ページ）
	（ヘッドホン）端子（24ページ）

その他の各部名称

名称	位置
内蔵マイク	内蔵カメラ（MOTION EYE）ランプの左側にあります。
19.5V ⊖-◐-⊕ 端子	本体左側面の左端にあります。

状態表示ランプ

ランプ	機能
⏻（パワー）ランプ	電源が入ると点灯（グリーン）します。スリープモード時には点滅（オレンジ）します。
➜▭（充電）ランプ	バッテリーの充電状態をお知らせします。（6ページ）
内蔵カメラ（MOTION EYE）ランプ	内蔵カメラ（MOTION EYE）の左側にあります。 内蔵カメラ（MOTION EYE）起動中に点灯します。
メモリーカードアクセスランプ	“メモリースティック デュオ” スロットとSDメモリーカードスロットの間にあります。 “メモリースティック デュオ” やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。
（ディスク）アクセスランプ	ハードディスクまたはSSDにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。
（Num Lock）ランプ	Fnキーを押しながらNum Lkキーを押すと点灯します。 ランプが点灯しているときにテンキーを押すと、数字を入力できます。 もう一度、Fnキーを押しながらNum Lkキーを押すと消灯します。
（Caps Lock）ランプ	Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押すと点灯します。 ランプが点灯しているときに文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。 もう一度、Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押すと消灯し、アルファベットの小文字入力に戻ります。
（Scroll Lock）ランプ	Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと点灯します。 使用するソフトウェアによって働きが異なります。 もう一度、Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと消灯します。
WIRELESSランプ	ワイヤレス機能（無線LAN機能／ Bluetooth機能）が使える状態のときに点灯します。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です）。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

画面の解像度について

- 高解像度で動画を再生する場合、本機に搭載されているビデオメモリーの容量によっては動画の再生ができない場合があります。このような場合には、解像度を下げて再生してください。
- DVD再生時や、動画／画像系のソフトウェア使用時は、画像の解像度や色数を変更しないでください。正しく再生や表示ができなかったり、システムが不安定になることがあります。また、DVD再生時は、スクリーンセーバーの設定を解除することをおすすめします。スクリーンセーバーを設定すると、DVDの再生中にスクリーンセーバーが起動し、正しく再生できない場合があります。スクリーンセーバーによっては、画面の解像度や色数を変更したりするものも確認されています。

グラフィックスメモリーについて

「画面の解像度」の「詳細設定」画面で表示される「利用可能な全グラフィックス メモリ」「専用ビデオ メモリ」「システム ビデオ メモリ」「共有システム メモリ」は、本機に搭載しているメモリー容量とは異なる場合があります。

キーボードについてのご注意

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクまたはSSDの取り扱いについて

本機には、ハードディスクまたはSSD(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクまたはSSDが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

ハードディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合

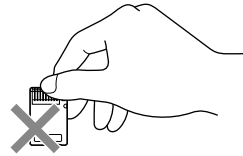
- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

SSD搭載モデルをお使いの場合

- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- お買上げ時に搭載されているSSDは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクまたはSSDに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクまたはSSDのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

"メモリースティック"の取り扱いについて

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリーカードアクセスランプが点灯中に"メモリースティック"を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック"を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”を“メモリースティック マイクロ” デュオサイズ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
  “メモリースティック マイクロ” デュオサイズ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”、“メモリースティック マイクロ” デュオサイズアダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

その他のメモリーカードについてのご注意

メモリーカードをお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- メモリーカードを挿入するときは、正しくスロットに入れてください。
- メモリーカードの向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとするとスロットやメモリーカード本体を破損するおそれがあります。詳しくは、メモリーカードの各メーカーの取扱説明書をご覧ください。
- データの読み込み中や書き込み中(アクセスランプ点灯中)にメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードにプロテクトがかかっている場合は、データの書き込みができません。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中にメモリーカードを抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- メモリーカードスロットの中に異物を入れないようにしてください。
- メモリーカードスロットは、対応するカードの書き込み、読み出し以外の用途ではご使用になれません。
- メモリーカードが取り出せないときは、もう一度奥まで押し込んでいったん離し、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカードを持ち歩く場合には、必ず専用ケースに入れるなどして、静電気の影響を受けることのないようご注意ください。
- メモリーカードをコンピューター以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリーカードをフォーマット(初期化)してからご使用ください。
  お使いの機器によっては、コンピューターで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリーカードをフォーマットしてからご使用ください。
  フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
  詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

SDメモリーカードについてのご注意

- 本機では、2010年1月時点で一般の販売店で購入できる2 Gバイトまでののそ SDメモリーカードおよび32 GバイトまでのSDHCメモリーカードでのみ動作確認を行っています。ただし、すべてのSDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードの著作権保護機能やハイスピード転送には対応していません。
- miniSDカードまたはmicroSDカードはそのままではご使用になれません。
  それぞれに適したカードアダプターを装着してご使用ください。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯の無線LAN機能と5 GHz帯の無線LAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11n(2.4 GHz)は、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- Windows 7 Starter搭載モデルをお使いの場合、アドホックネットワークは作成できません。
- IEEE 802.11b ／ IEEE 802.11gをお使いの場合のみ、アドホックモード接続を行うことができます。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ACアダプターについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属またはソニーが指定する別売りのACアダプターをご使用ください。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリーについてのご注意

バッテリーについて

- 付属のバッテリーは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属またはソニーが指定する別売りのバッテリーをご使用ください。
- 高温時、低温時は、安全のために充電を停止することがあります。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリーをお使いになるときは

付属のバッテリーは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリーの放電について

バッテリーは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリー駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリーの駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使用状況および設定等により変動します。

バッテリーの性能低下と交換について

バッテリーは消耗品です。充電回数や使用期間などにより少しずつ充電能力が低下していきます。このため、十分に充電を行っていてもバッテリーの駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなったりすることがあります。
バッテリーの駆動時間が短くなってきた場合には、バッテリーの状態を確認し、ソニー指定の新しいバッテリーと交換をしてください。
バッテリーの残量の確認方法については、「バッテリーの充電／表示の見かた」(6ページ)をご覧ください。
また、バッテリーは上手に使うことによって駆動時間を長くすることができます。
なお、バッテリーの交換に関しご不明な点などございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリーが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたはSSDに保存しますので、バッテリーが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプターを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリーの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプターとバッテリーを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、レンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピューターを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や自作のリカバリーメディアを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたはSSD内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスクまたはSSD上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたはSSD上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されている「VAIO データ消去ツール」を使って、ハードディスクまたはSSDのデータを完全に消去する
  詳しくは、「ハードディスク／ SSDのデータを完全に消去する」（111ページ）をご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクまたはSSDを破壊する
  ハードディスクまたはSSD上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- 「iモード」、「おサイフケータイ」および「トルカ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、 Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Officeロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供
VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは160ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト
My VAIO
http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOの各種サービスをご覧いただけます。

VAIOの製品情報が満載
VAIOホームページ
http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ
VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

（0120）36-3838（サンロク サンハチサンハチ）
（フリーダイヤル）

※「製品登録」がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）32-8912（通話料お客様負担）

受付時間
平日：9時～18時
土曜、日曜、祝日：9時～17時
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
※これらの電話番号は本製品専用の番号となります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。**
- **「製品登録」がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**
- **お電話の前に本機の型名をご確認ください。**
  （保証書または本機キーボード右上のIDラベルに記載されています。）

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」（165ページ）をご覧ください。

有料サービス

My VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ セミナー・個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）をご覧ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号（0120）36-3838

※本製品専用の番号となります。
※フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。
※「製品登録」がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、
「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
※お電話の前に本機の型名をご確認ください。

詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

© 2010 Sony Corporation